

柏崎市 若者の意識に関するアンケート調査

報 告 書

令和7(2025)年10月

柏崎市子ども未来部 子どもの発達支援課

目 次

I. 調査概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査対象者	3
3. 調査期間	3
4. 配布・回収方法	3
5. 配布数・回収数	3
6. 結果の見方	3
II. 集計結果	4
1. 回答者の属性	4
2. 仕事・経済面について	6
3. 結婚・子どもを持つことについて	11
4. 子どもの頃のことについて	14
5. 現在の生活について	15
6. 回答者の気持ち・考えについて	23
7. 柏崎市に求めること・期待すること	30

I. 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、「柏崎市こども・若者計画」の策定にあたって、若者の現状や意識、考え等を把握し、本市が取り組むべき課題や施策の方向性等を見定めるため、アンケート調査を実施し、集計・分析を行い、計画策定の基礎資料を作成することを目的とする。

2. 調査対象者

柏崎市に住民票がある 19～29 歳(令和 7 年 4 月 1 日時点)の男女 2,200 人

3. 調査期間

令和 7(2025)年 5 月 1 日～5 月 23 日

4. 配布・回収方法

配布方法	回収方法
郵送による配布	郵送及び WEB 回答方式

5. 配布数・回収数

配布数	回収数	回収率
2,182	507	23.2%

※ 調査票を送付した 2,200 人のうち、転居等で対象者に届かなかった 18 人分を除いた数です。

6. 結果の見方

- ・ 調査数「n」は、比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答者になるかを示しています。
- ・ 回答の構成比は百分率(%)で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出しています。そのため合計が 100.0%にならない場合もあります。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率は 100.0%となりません。
- ・ 質問文、選択肢の見出しを一部簡略化してある場合があります。

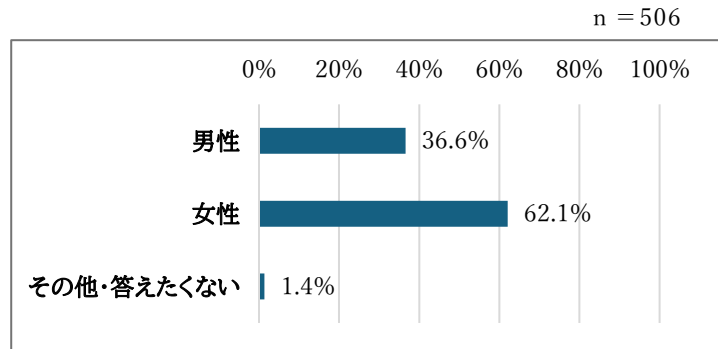
Ⅱ. 集計結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

問1 性別をお答えください。

- 回答者の性別は、女性が 62.1%と高くなっています。
- 年齢でみると、男性、女性ともに年齢が上がるにつれ、高くなっています。



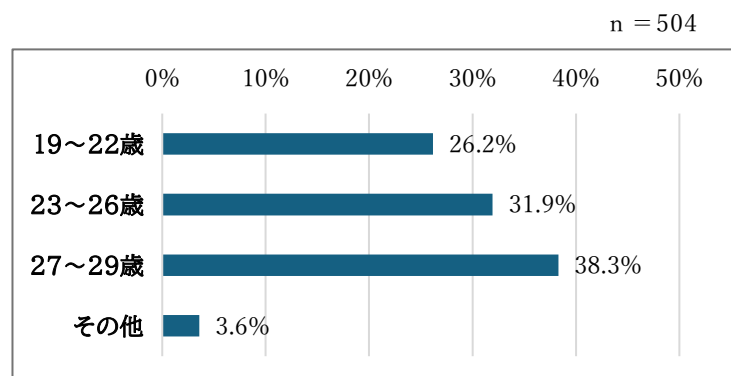
年齢別集計

	調査数	男性	女性	その他・答えたくない
全体数(n)	506	185	314	7
19～22 歳	単位(%)	27.6	24.8	42.9
23～26 歳		30.3	32.8	28.6
27～29 歳		38.9	37.9	28.6
その他		3.2	4.5	—

(2) 年代

問2 年齢を教えてください。※回答日現在

- 全体では、「27～29 歳」が 38.3%と最も高く、年齢が上がるにつれて、高くなっています。

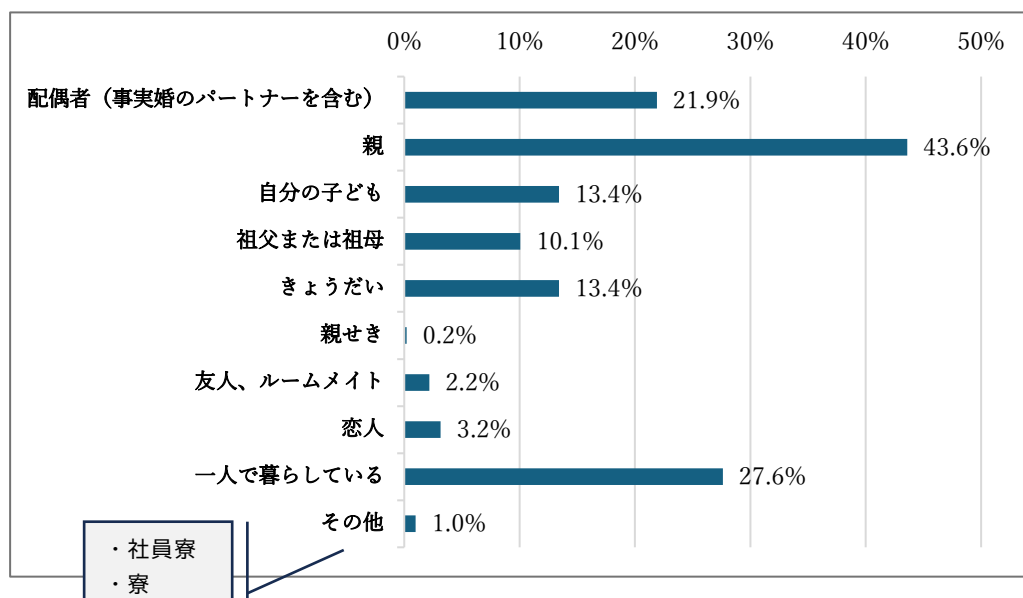


(3) 同居家族

問3 誰と一緒に暮らしていますか。(複数回答)※ 一時的に単身赴任している家族含む。

- 一緒に暮らしている人は「親」が43.6%と最も高く、次いで「一人暮らし」が27.6%、配偶者(事実婚含む)」が21.9%となっています。

n = 507



年齢別集計

	調査数	配偶者(パートナー含む)	親	自分の子ども	祖父または祖母	きょうだい	親せき	友人、ルームメイト	恋人	一人で暮らしている	その他
全体数(n)	507	111	221	68	51	68	1	11	16	140	5
19～22 歳	単位(%)	0.9	27.1	2.9	31.4	50.0	—	—	12.5	46.4	20.0
23～26 歳		18.0	37.1	17.6	45.1	29.4	—	36.4	43.8	32.1	20.0
27～29 歳		72.1	32.1	70.6	17.6	19.1	100.0	54.5	37.5	20.7	60.0
その他		9.0	3.6	8.8	5.9	1.5	—	9.1	6.3	0.7	—

- 年齢でみると、「配偶者」、「自分の子ども」と回答した割合は、年齢が上がるにつれて、高くなっています。
- 「一人で暮らしている」と回答した割合は、年齢が上がるにつれて、低下しています。

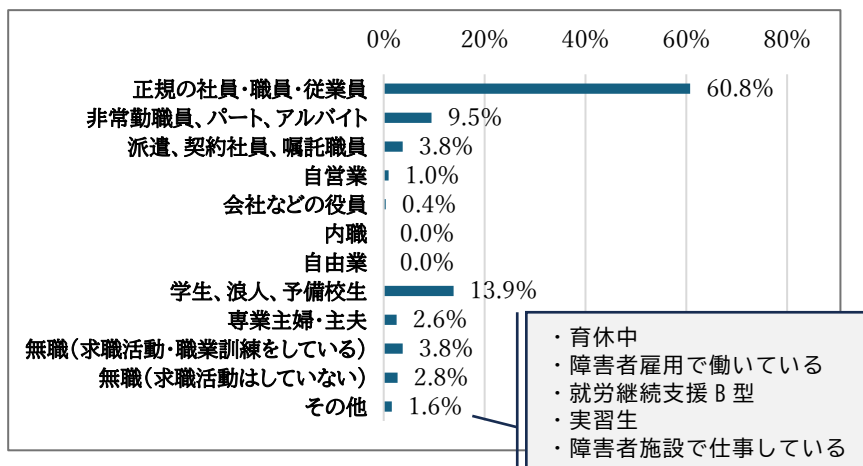
2. 仕事・経済面について

(4) 職業

問4 あなたの現在の職業等を教えてください。

n = 504

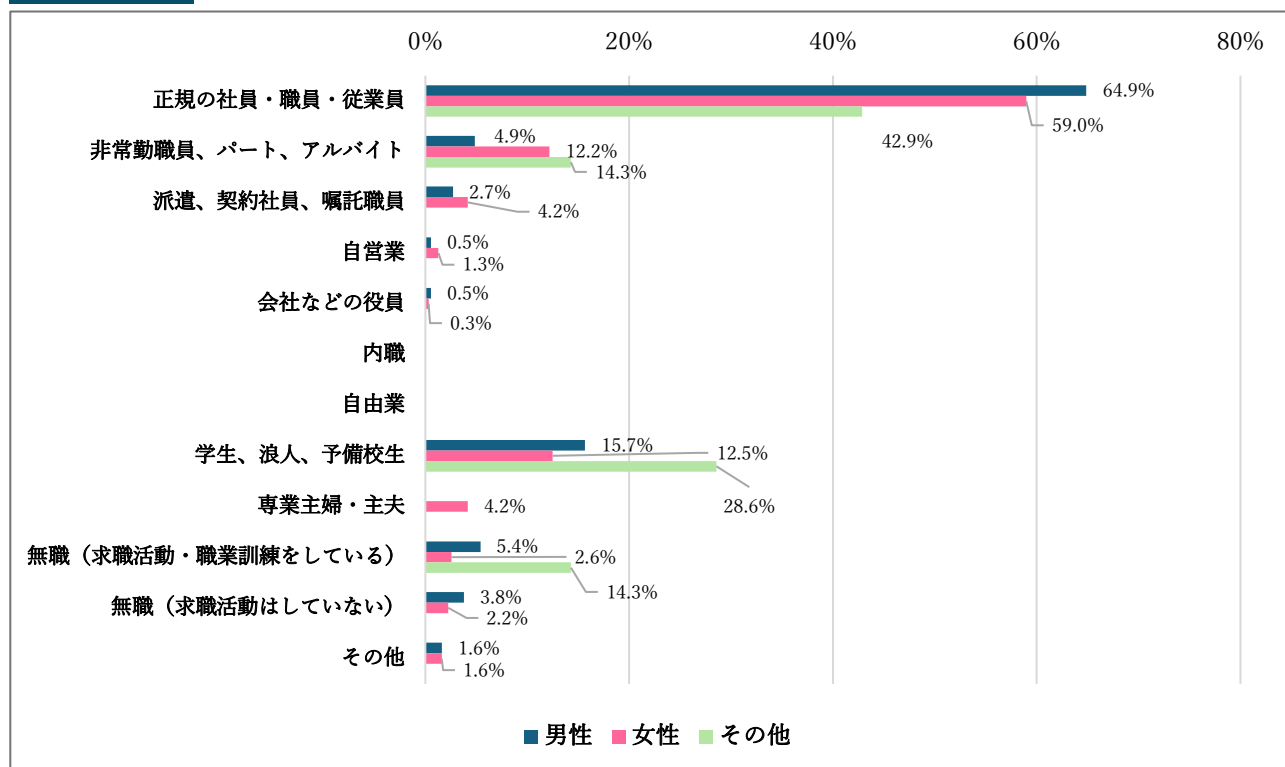
- 「正規の社員・職員・従業員」が60.8%と最も高く、次いで「学生、浪人、予備校生」が13.9%となっています。



年齢別集計

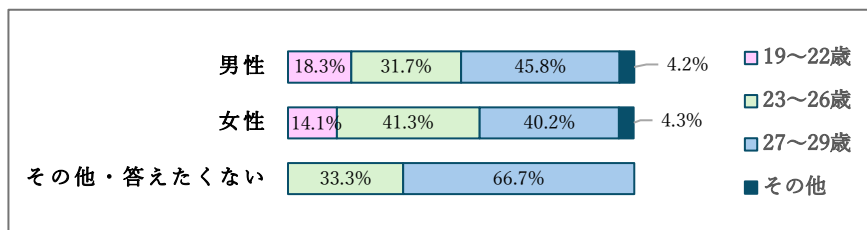
	調査数	正規の社員・職員・従業員	非常勤職員、パート、アルバイト	派遣、契約社員、嘱託職員	自営業	会社などの役員	内職	自由業	学生、浪人、予備校生	専業主婦・主夫	無職(求職活動・職業訓練中)	無職(求職活動はしていない)	その他
全体数(n)	504	307	48	18	5	2	0	0	70	13	19	14	8
19～22歳	単位(%)	15.6	12.5	22.2	20.0	50.0	—	—	91.4	—	21.1	28.6	25.0
23～26歳		37.5	31.3	22.2	—	—	—	—	4.3	46.2	42.1	35.7	25.0
27～29歳		42.7	52.1	55.6	60.0	50.0	—	—	2.9	46.2	36.8	28.6	37.5
その他		4.2	4.2	—	20.0	—	—	—	1.4	7.7	—	7.1	12.5

男女別集計

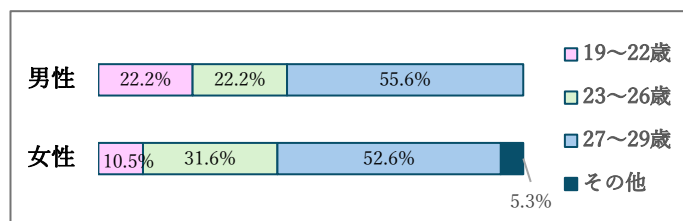


年齢別×男女別集計

【正規の社員、職員、従業員】



【非常勤職員、パート、アルバイト】

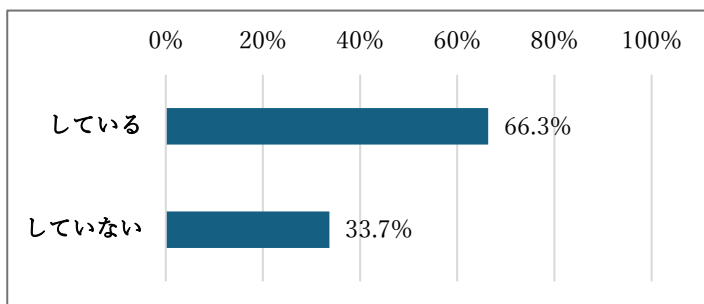


- 男女別でみると、男性は「正規の社員・職員・従業員」が 64.9%、女性は 59.0%となっています。
- 女性は、23 歳以上で、年代が上がるにつれて、「正規の社員・職員・従業員」が若干低下しており、ライフステージが職業に影響を与えている可能性があります。

(5) 経済面

問5 あなたは、経済的に自立していますか。

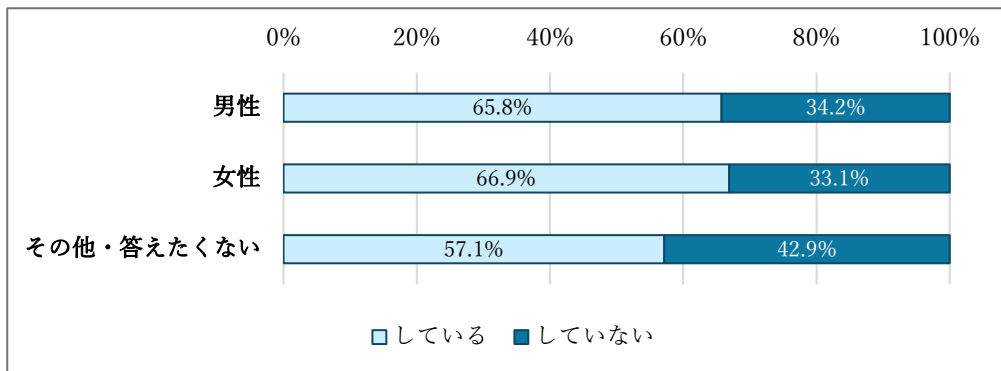
n = 505



年齢別集計

	調査数	している	していない
全体数(n)	505	335	170
19~22 歳	単位(%)	14.0	49.4
23~26 歳		34.9	25.9
27~29 歳		46.3	22.4
その他		4.8	2.4

男女別集計



- 「自立している」が 66.3%、「自立していない」が 33.7%(170 人)となっています。
- 年齢でみると、「自立している」と回答した割合は、年齢が上がるにつれて、高くなっています。
- 男女別でみると、男性は「自立している」が 65.8%、女性は 66.9%であり、男女間で大きな差はないようです。

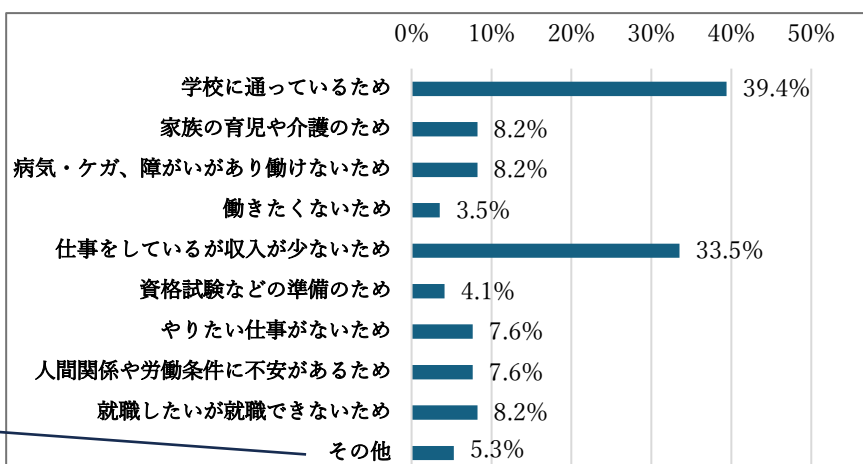
問5で「2 していない」と答えた170人について

問6 経済的に自立していない理由は何ですか。(複数回答)

n = 170

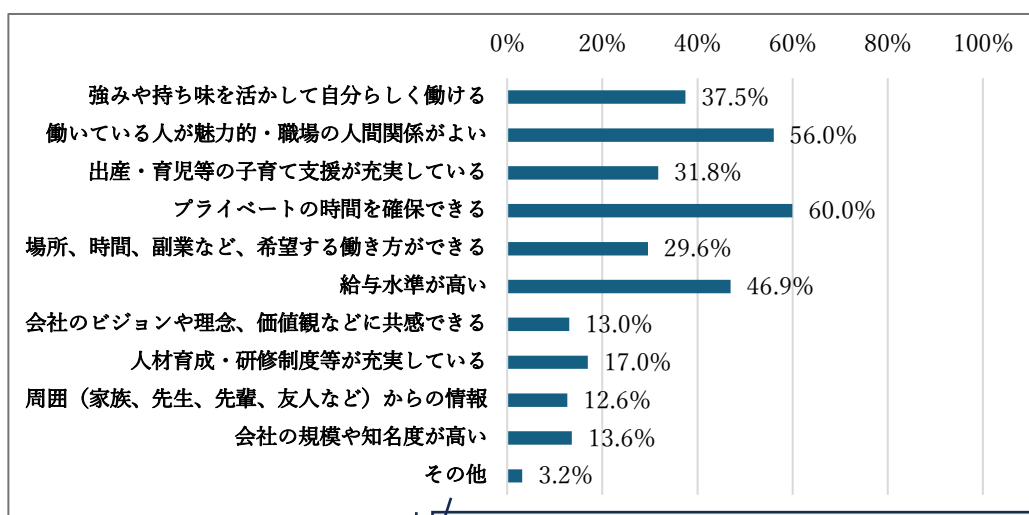
- 「学校に通っているため」が39.4%と最も高く、次いで「仕事をしているが収入が少ないため」が33.5%となっています。

- ・実家での生活のため
- ・社員への移行期間
- ・両親と同居し、家計にお金を入れているが自立とは言い難い
- ・福祉作業所利用
- ・プライバシーのため答えたくない



問7 就職先を選ぶうえで重視したい点(重視した点)は何ですか。(複数回答)

n = 506



- 「プライベートの時間を確保できる」が60.0%と最も高く、次いで「働いている人が魅力的・職場の人間関係がよい」が56.0%となっており、給与水準(46.9%)より、ワーク・ライフ・バランスや職場環境を重視する傾向が高いことが伺えます。

- ・ストレスが少ない
- ・学歴差を感じさせない
- ・意見や改善を自分なりに伝えたら、きちんと聞いてくれるか
- ・自分の病気を理解して仕事をさせてくれる
- ・地元の貢献のため
- ・福利厚生がよい
- ・子どもの風邪や行事等で休みやすいか
- ・生活介護があるところ
- ・人間と無理に関わらず、わずらわしさがいないところ

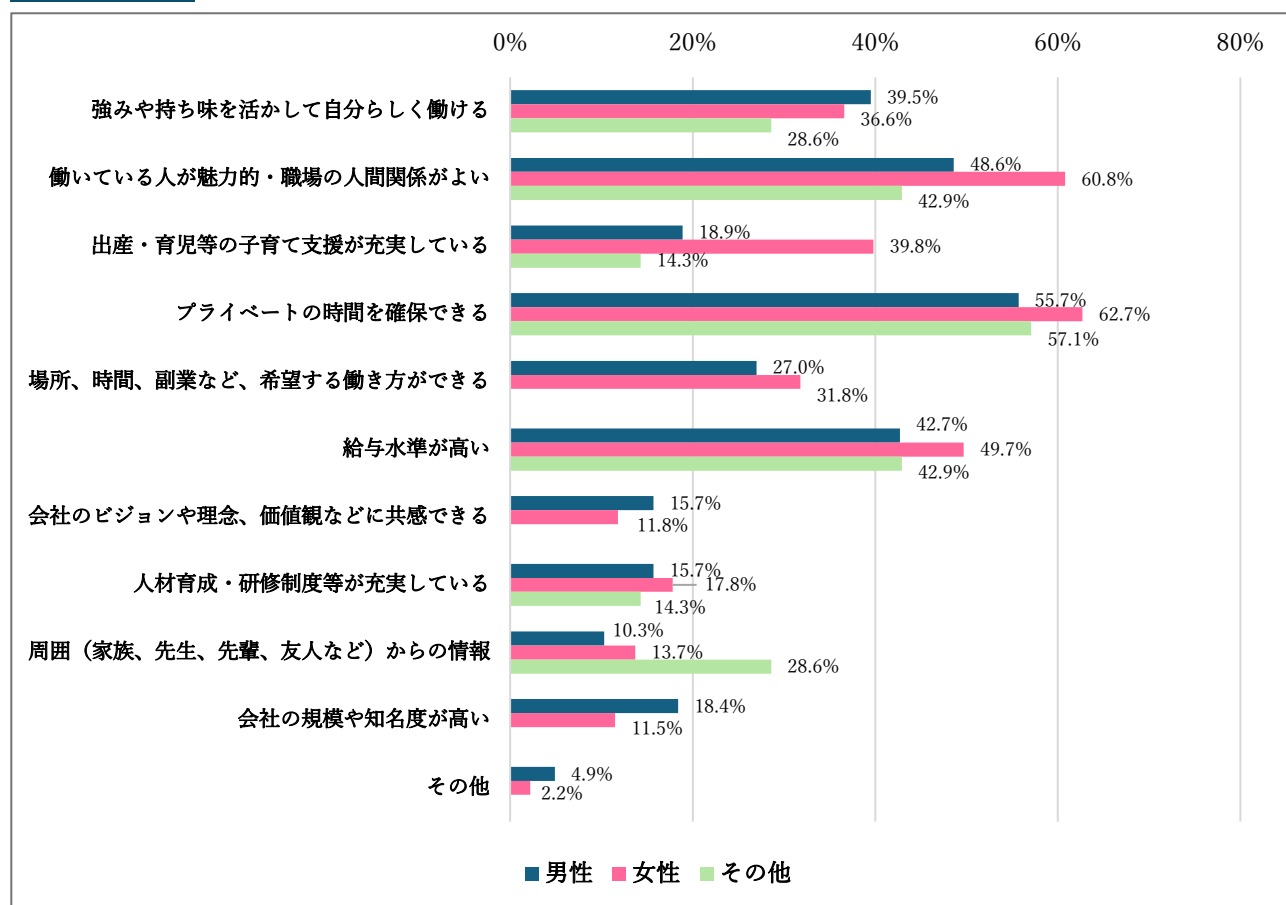
令和6年度新潟県 若者意識調査との比較

- 県の調査でも同様に、「プライベートの時間を確保できる」が55.9%と最も高く、次いで「働いている人が魅力的・職場の人間関係がよい」が50.9%となっています。
- 一方で、県の調査では「自分らしく働ける・強みや持ち味を生かせる」が50.7%であるのに対して、本調査では同様の選択肢が37.5%であり低い傾向にあります。

年齢別集計

	調査数	強みや持ち味を活かして自分らしく働ける	働いている人が魅力的・職場の人間関係がよい	出産・育児等の子育て支援が充実している	プライベート時間を確保できる	場所、時間、副業など希望する働き方ができる	給与水準が高い	会社のビジョンや理念、価値観などに共感できる	人材育成、研修制度等が充実している	周囲（家族、先生、先輩、友人など）からの情報	会社の規模や知名度が高い	その他
全体数(n)	506	190	284	161	304	150	238	66	86	64	70	16
19～22 歳	単位 (%)	25.8	29.6	24.2	23.7	26.0	24.4	31.8	30.2	29.7	25.7	25.0
23～26 歳		36.3	29.2	25.5	34.5	30.0	30.3	31.8	24.4	32.8	24.3	31.3
27～29 歳		32.1	37.3	44.1	37.2	41.3	41.2	28.8	22.1	34.4	47.1	31.3
その他		5.8	3.9	6.2	4.6	2.7	4.2	7.6	5.8	3.1	2.9	12.5

男女別集計

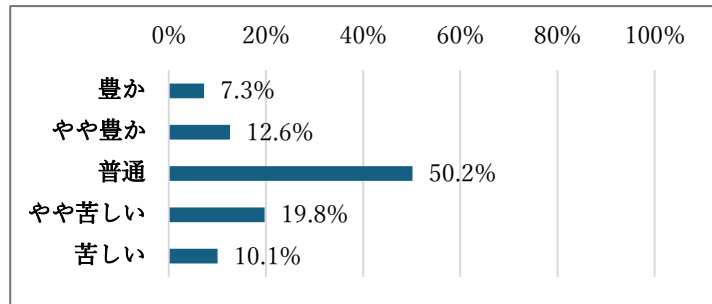


- 男女別でみると、「プライベートの時間を確保できる」が男性 55.7%、女性 62.7%と男女ともに最も高く、次いで、「働いている人が魅力的・職場の人間関係がよい」が男性 48.6%、女性 60.8%となっており、男女でほぼ同様の傾向にあります。
- 「出産・育児等の子育て支援が充実している」については、男性の 18.9%に対し、女性 39.8%と開きがあり、子育てに対する支援(子育てと仕事との両立)については、男性よりも女性のニーズが高いことが伺えます。

問8 あなたは、現在の経済的な暮らし向きをどのように感じますか。

n = 506

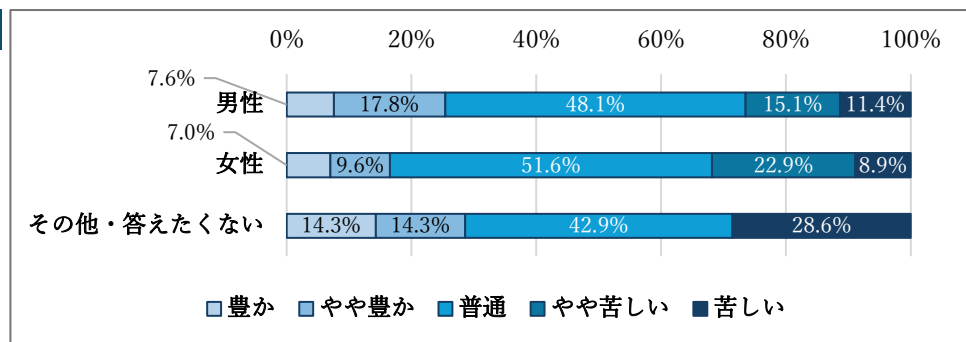
- 「普通」が 50.2%で最も高く、次いで「やや苦しい」が 19.8%、「やや豊か」が 12.6%となっています。
- 年齢でみると、23～26 歳の年代で「やや苦しい」、「苦しい」の回答が多くとなっています。



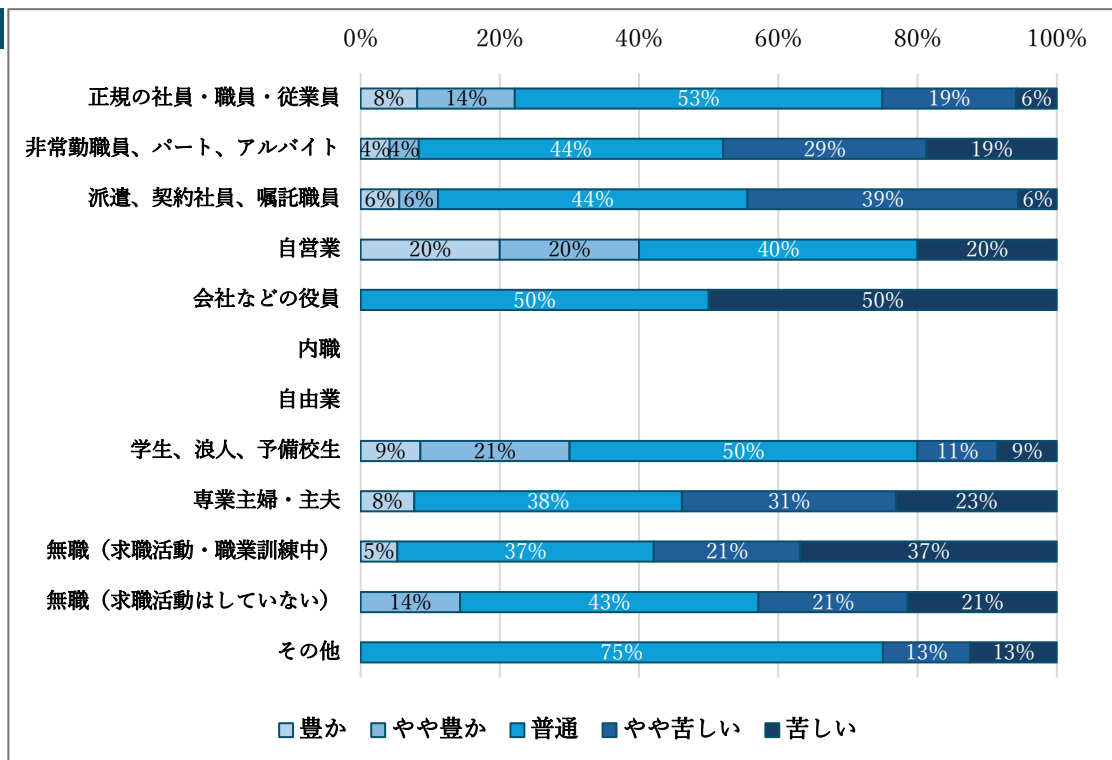
年齢別集計

	調査数	豊か	やや豊か	普通	やや苦しい	苦しい
全体数(n)	506	37	64	254	100	51
19～22 歳	単位(%)	35.1	31.3	24.4	22.0	29.4
23～26 歳		29.7	28.1	28.7	41.0	35.3
27～29 歳		35.1	34.4	41.7	36.0	31.4
その他		—	6.3	5.1	1.0	3.9

男女別集計



職業別集計

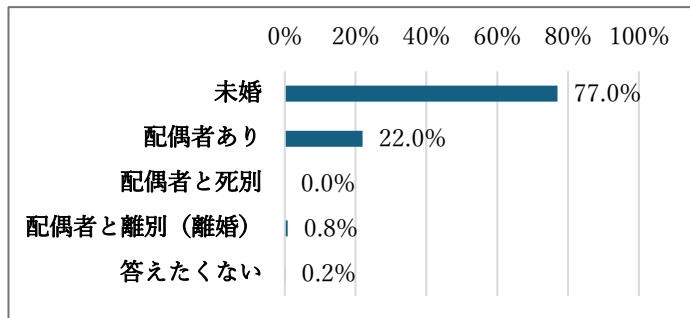


3. 結婚・子どもを持つことについて

問9 あなたの現在の婚姻状況を教えてください。

n = 505

- 「未婚」が 77.0% (389 人) と最も高く、次いで「配偶者あり」が 22.0% となっています。

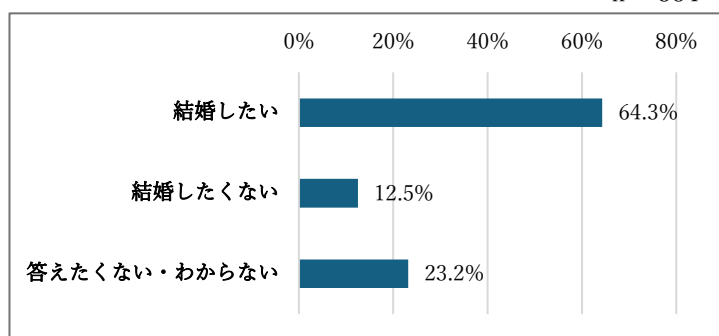


問9で「未婚」と答えた389人について

問10 自分の一生を考えたとき、結婚への考えはどちらですか。

n = 384

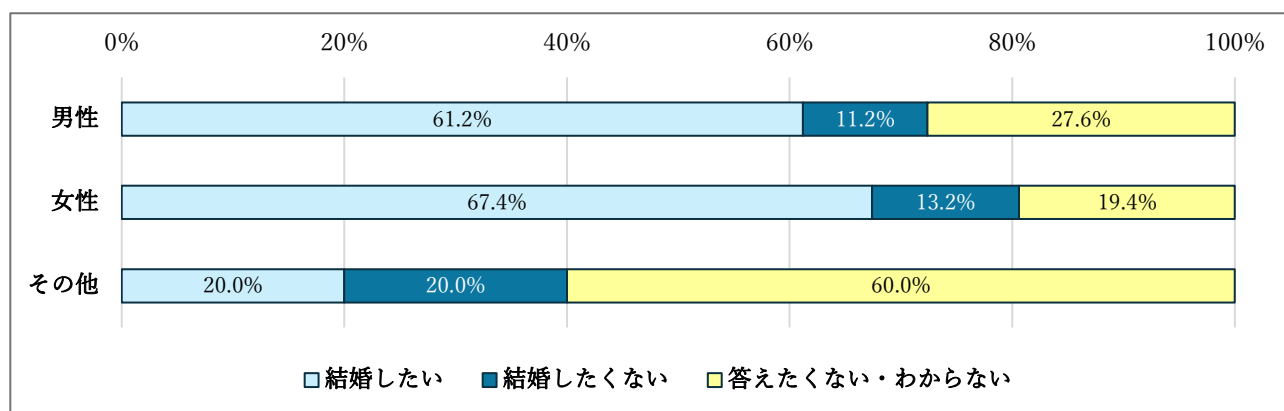
- 「結婚したい」が 64.3% と最も高く、次いで「答えたくない・わからない」が 23.2% となっています。
- 男女別でみると、「結婚したい」が男性 61.2%、女性 67.4% であり、女性のほうが若干結婚願望が高いことが伺えます。



年齢別集計

	調査数	結婚したい	結婚したくない	答えたくない・わからない
全体数(n)	384	247	48	89
19～22 歳	単位(%)	34.8	22.9	33.7
23～26 歳		32.4	50.0	38.2
27～29 歳		30.4	22.9	25.8
その他		2.4	4.2	2.2

男女別集計



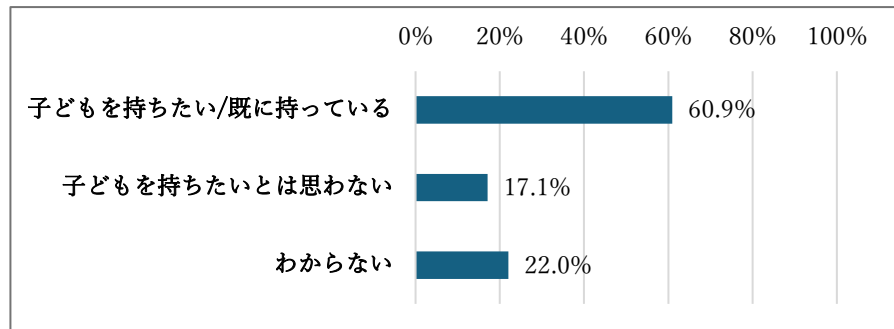
令和 6 年度新潟県 若者意識調査との比較

- 県の調査では、「いずれ結婚するつもり」が 74.4% であるのに対して、本調査では同様の選択肢が 64.3% であり、県全体と比較すると低めの傾向にあります。

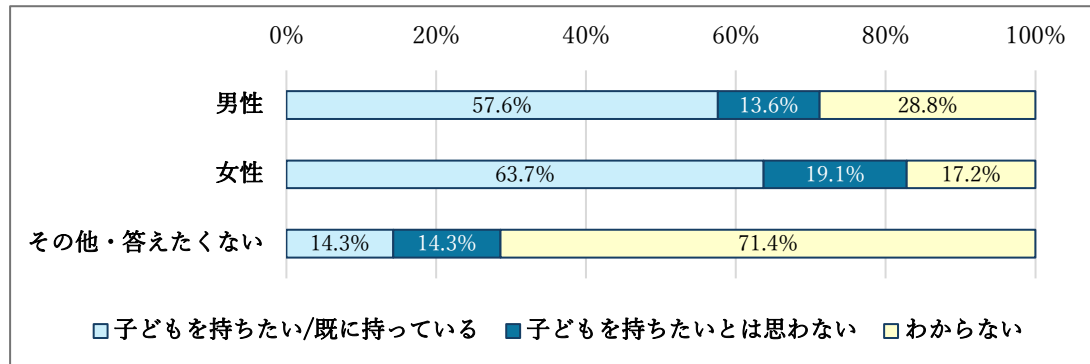
問 11 あなたが子どもを持つことについて、どのように思いますか。

n = 504

- 「子どもを持ちたい/既に持っている」が 60.9%と最も高く、次いで「わからない」が 22.0%、「子どもを持ちたいとは思わない」が 17.1%(86 人)となっています。



男女別集計

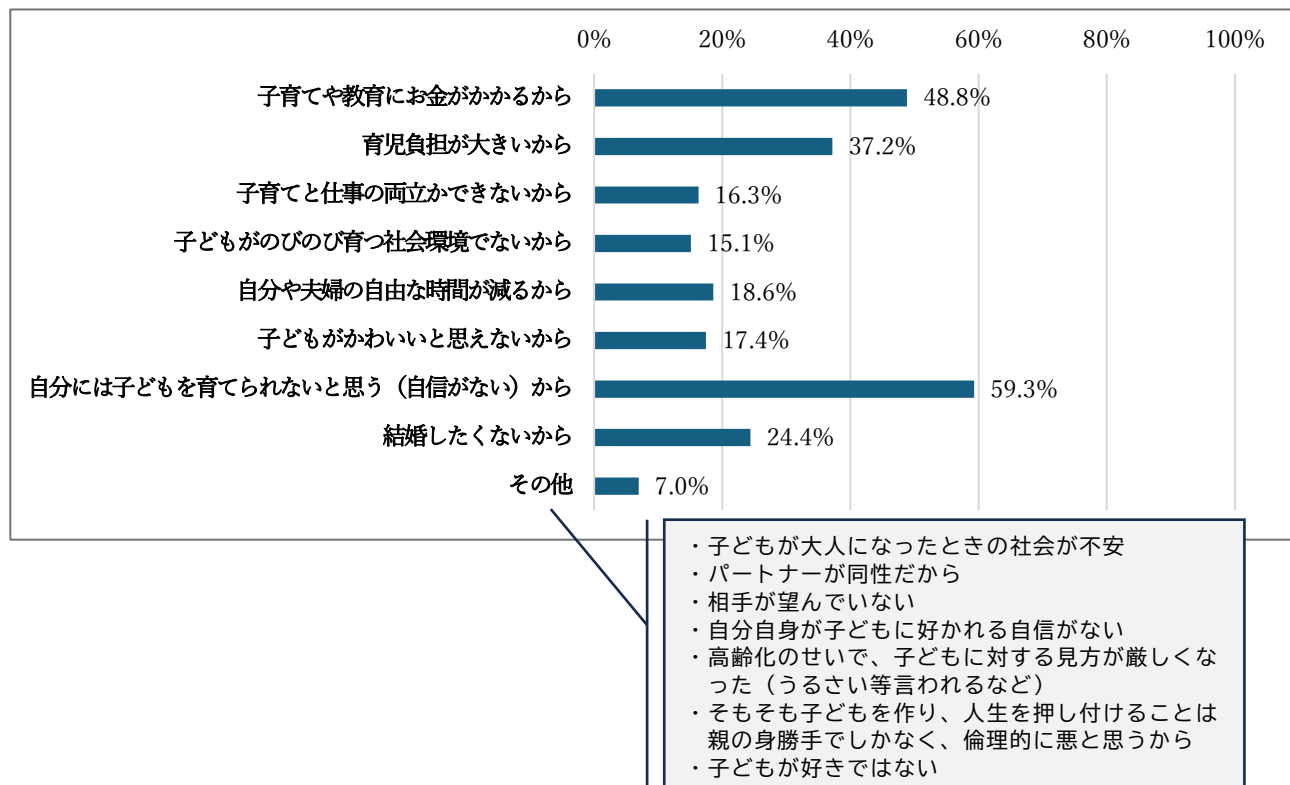


- 男女別でみると、「子どもを持ちたい/既に持っている」が男性 57.6%に対し、女性は 63.7%であり、女性のほうが高い傾向にあります。

問 11 で「2 子どもを持ちたいとは思わない」と答えた86人について

問 12 その理由は何ですか。(3つまで回答)

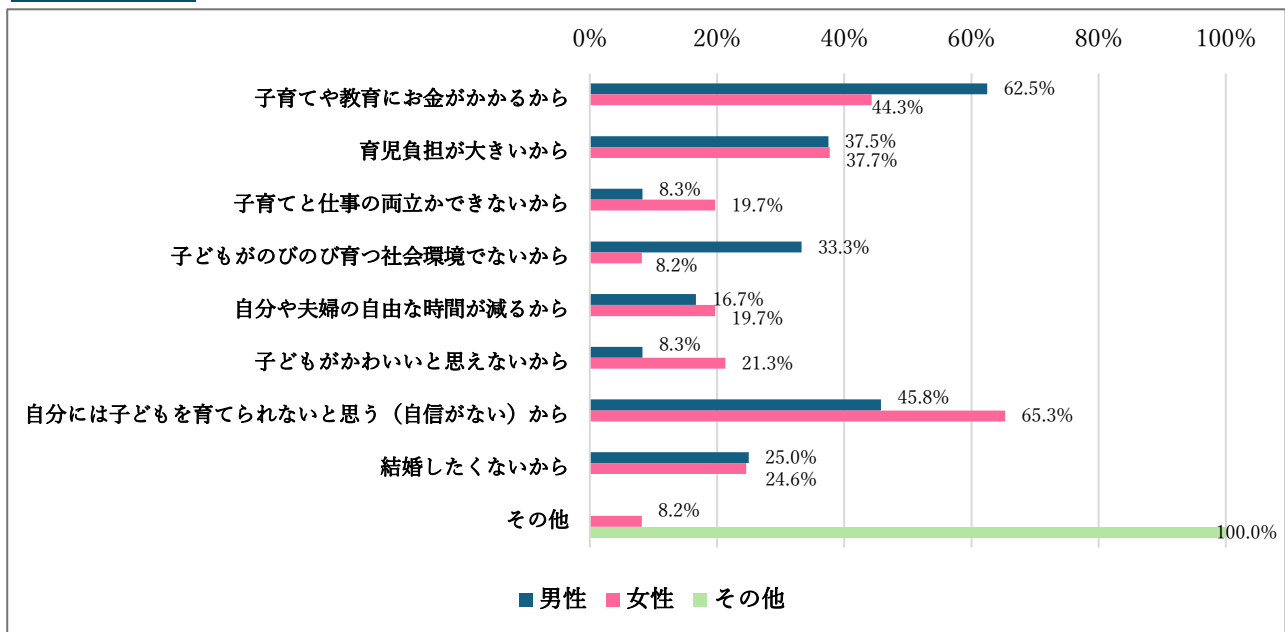
n = 86



年齢別集計

	調査数	子育てや教育にお金がかかるから	育児負担が大きいから	子育てと仕事の両立ができないから	子どもがのびのび育つ社会環境でないから	自分や夫婦の自由な時間が減るから	子どもがかわいいと思えないから	自分には子どもを育てられないと思うから	結婚したくないから	その他
全体数(n)	86	42	32	14	13	16	15	51	21	6
19～22 歳	単位 (%)	19.0	15.6	—	15.4	18.8	33.3	19.6	28.6	16.7
23～26 歳		33.3	34.4	64.3	46.2	56.3	33.3	37.3	47.6	66.7
27～29 歳		40.5	34.4	14.3	38.5	18.8	33.3	37.3	19.0	16.7
その他		7.1	15.6	21.4	—	6.3	—	5.9	4.8	—

男女別集計



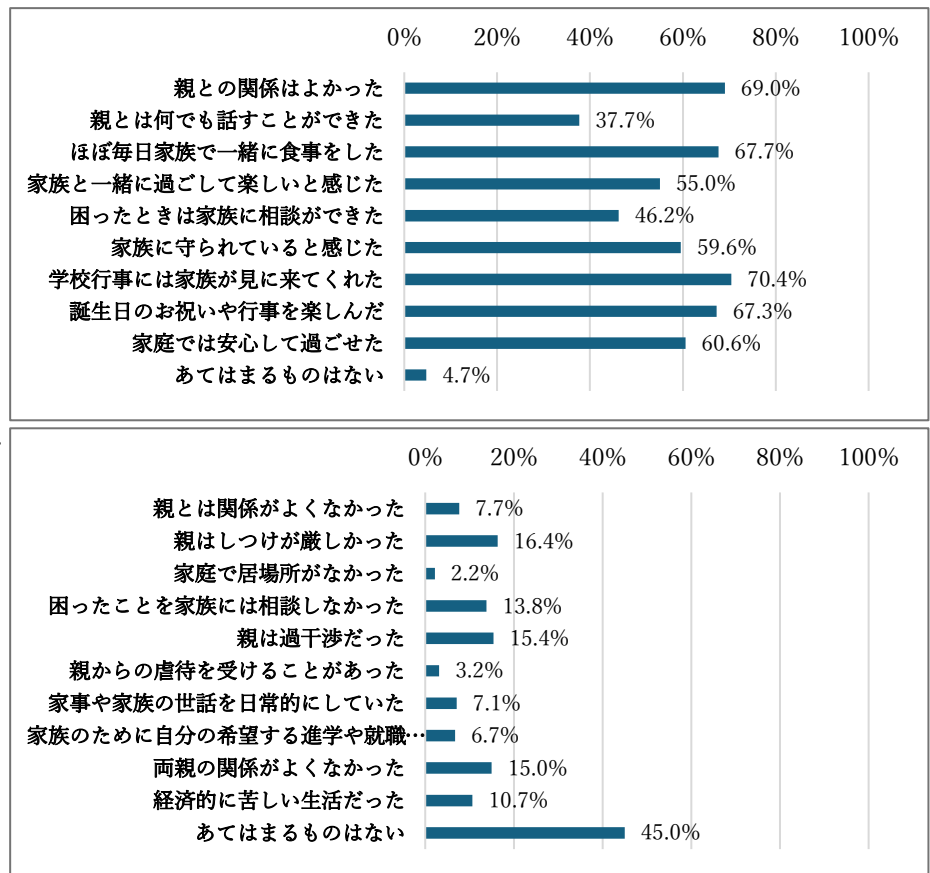
- 「自分には子どもを育てられないと思うから」が 59.3%と最も高く、次いで「子育てや教育にお金がかかるから」が 48.8%、「育児負担が大きいから」が 37.2%となっています。
- 男女別でみると、男性は「子育てや教育にお金がかかるから」が 62.5%で最も多いのに対して、女性は「自分には子どもを育てられないと思う(自信がない)から」が最も多く、65.3%となっています。
- 「子育てと仕事の両立ができないから」は男性が 8.3%であるのに対し、女性は 19.7%、「子どもがのびのび育つ社会環境でないから」は男性が 33.3%であるのに対し、女性は 8.2%、「子どもがかわいいと思えないから」は、男性が 8.3%であるのに対し、女性は 21.3%となっており、男女間の回答で開きがあります。

4. 子どもの頃のことについて

問 13 子どもの頃の家庭生活で、あてはまるものはありますか。(複数回答)

n = 507

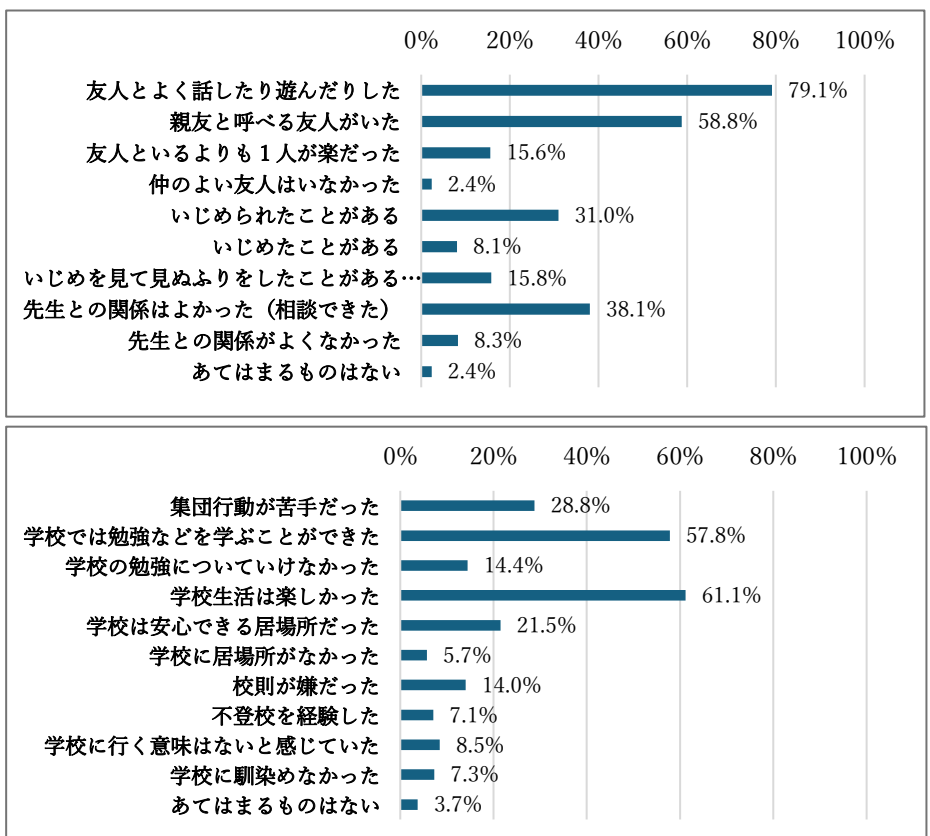
- 「親との関係はよかった」が69.0%であるのに対し、「親とは何でも話すことができた」は37.7%、「困ったときは家族に相談ができた」は46.2%と低い傾向にあります。
- 「家事や家族の世話を日常的にしていた」は7.1%となっており、ヤングケアラーの可能性が伺えます。



問 14 子どもの頃の学校生活で、あてはまるものはありますか。(複数回答)

n = 507

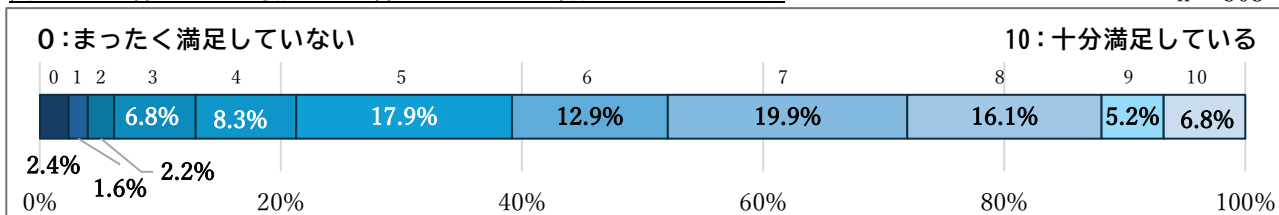
- 「友人とよく話したり遊んだりした」が79.1%、「学校生活は楽しかった」が61.1%と、肯定的な回答が高い一方、「学校は安心できる居場所だった」は21.5%と低い傾向にあります。



5. 現在の生活について

問 15 全体として、最近の生活にどれくらい満足していますか。

n = 503



- 「7」が19.9%と最も高く、次いで「5」が17.9%、「8」が16.1%となっています。
- 評点に回答率を乗じて100%で除し平均評点を算出すると6.1になります。

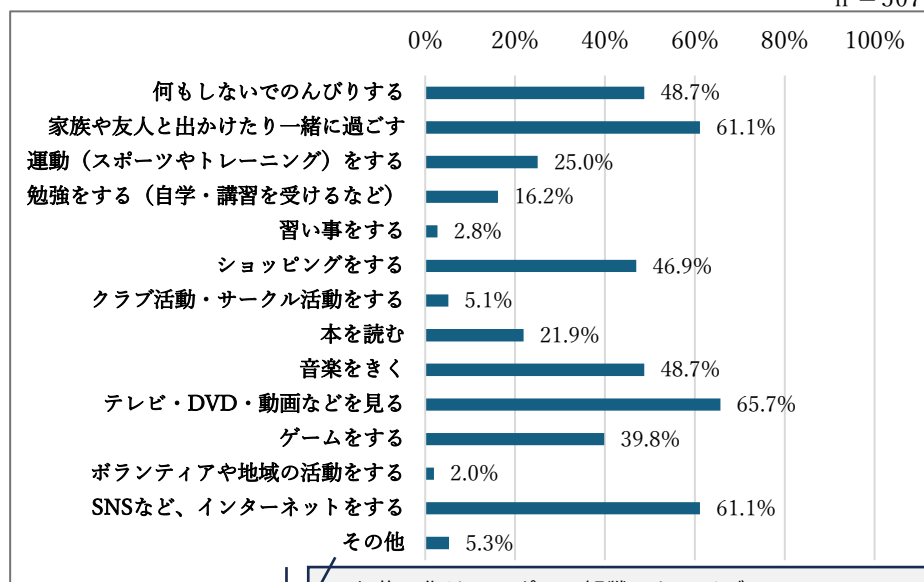
令和6年度 子どもアンケート(第三期柏崎市子ども・子育て支援事業計画策定に伴う)との比較

- 子どもアンケートでは、「10」が23.4%と最も高く、次いで「8」が20.7%、「7」が16.0%となっています。平均評点は7.3です。

問 16 あなたは自由な時間をどのように過ごしていますか。(複数回答) ※仕事や学校、家事など以外の過ごし方

n = 507

- 「テレビ・DVD・動画などを見る」が65.7%と最も高く、次いで「家族や友人と出かけたり一緒に過ごす」と「SNSなど、インターネットをする」がいずれも61.1%となっています。

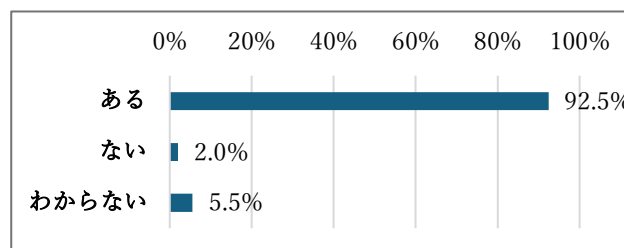


・お菓子作り・スポーツ観戦・ドライブ
 ・推し活・競馬・散歩・模様替えや片付け
 ・自宅で趣味の絵を描く・手芸・創作活動
 ・温泉めぐり・ラジオを聴く・ツーリング・バイクいじり
 ・哲学・数学・化学・芸術・歴史
 ・自由な時間はほとんどない

問 17 あなたは、安心して過ごせる場所がありますか。

n = 505

- 「ある」が92.5%(467人)と最も高く、次いで「わからない」が5.5%となっています。



令和6年度 子どもアンケート(第三期柏崎市子ども・子育て支援事業計画策定に伴う)との比較

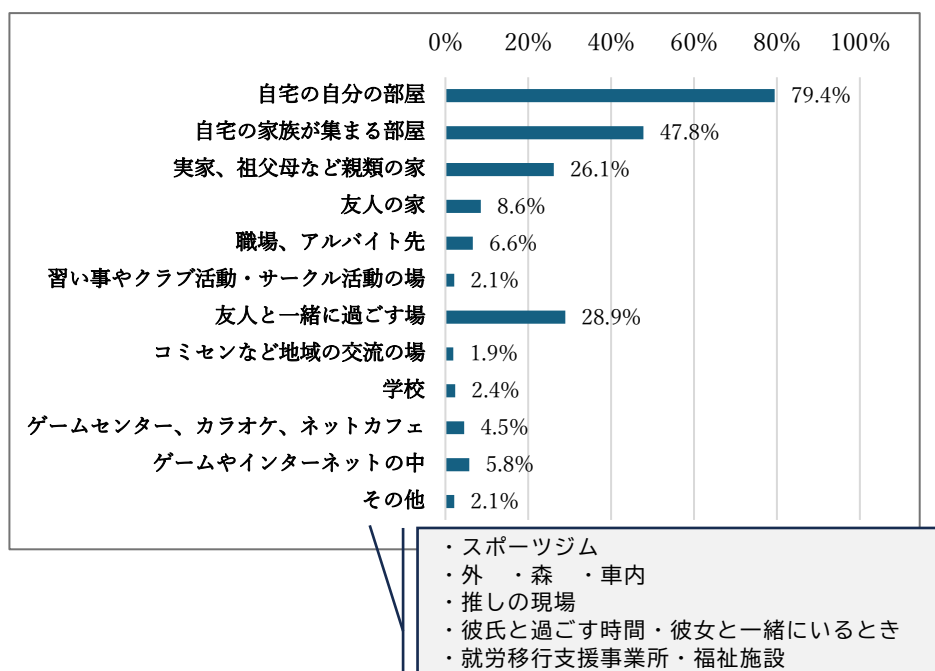
- 子どもアンケートでは、「ある」が86.5%と最も高く、次いで「わからない」が10.9%となっています。

問 17 で「ある」と答えた467人について

問 18 安心して過ごせる場所はどこですか。(複数回答)

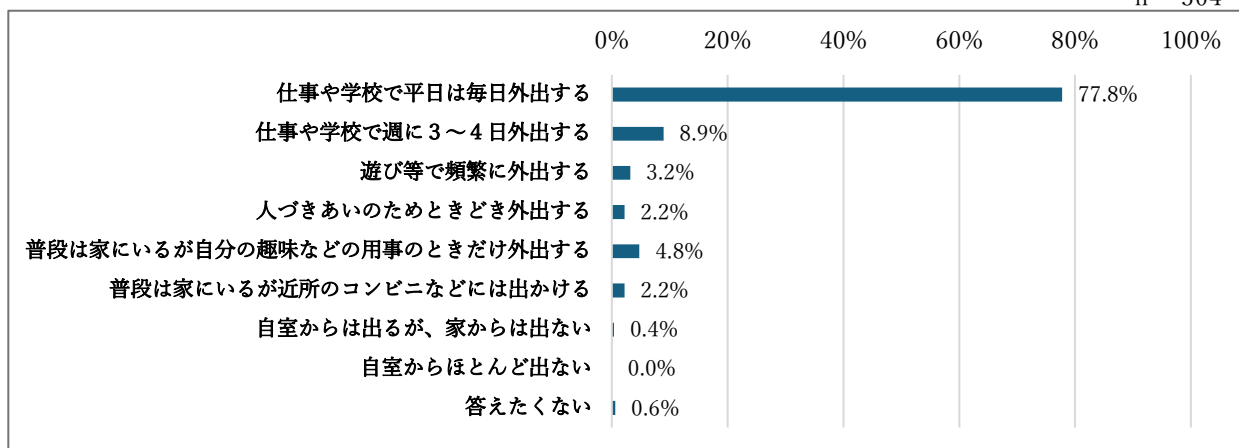
n = 467

- 「自宅の自分の部屋」が79.4%と最も高く、次いで「自宅の家族が集まる部屋」が47.8%となっており、自宅を安心して過ごせる場と感じている若者が多いことが伺えます。



問 19 あなたは普段どのくらい外出しますか。

n = 504



- 「仕事や学校で平日は毎日外出する」が77.8%と最も高く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」が8.9%となっています。

令和6年度新潟県 若者意識調査との比較

- 県の調査では、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が最も高く72.6%、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」が9.2%となっています。

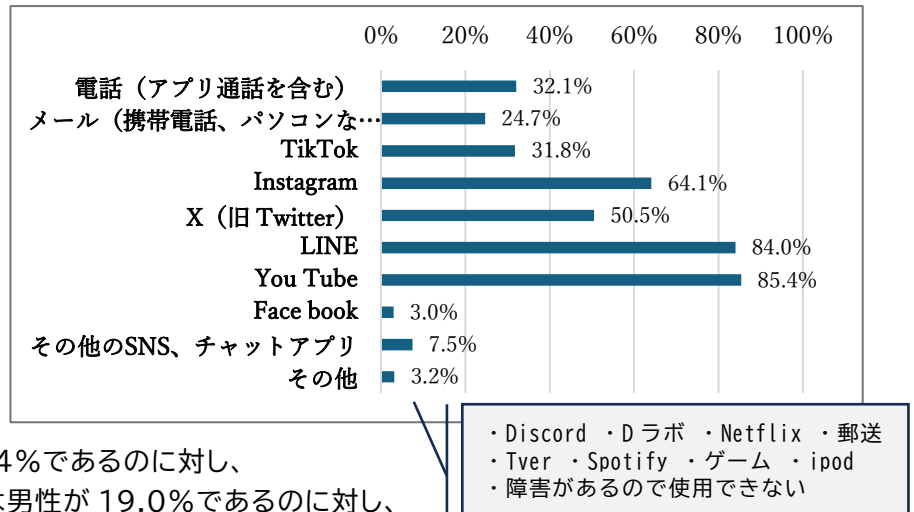
令和4年度子ども家庭庁(内閣府) こども・若者の意識と生活に関する調査との比較

- 国の調査では、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が最も高く69.3%、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」が12.1%となっています。

問 20 次のうち、あなたがよく利用しているものは何ですか。(複数回答)

n = 503

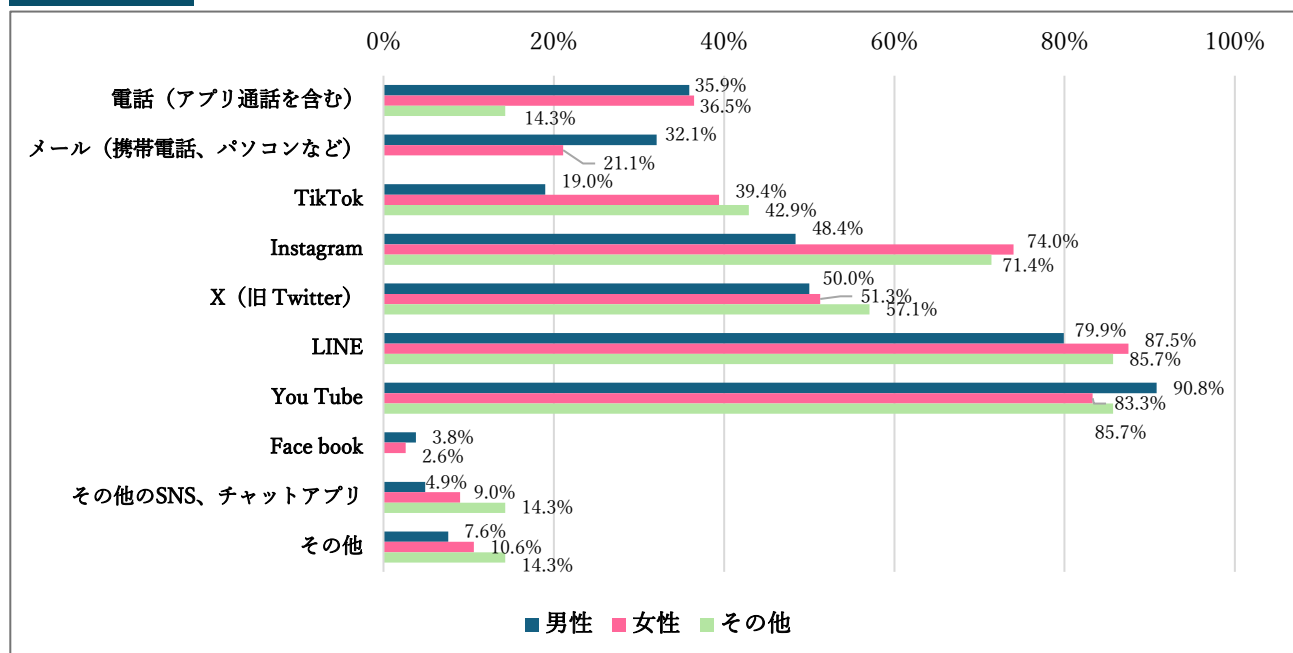
- 「YouTube」が 85.4%と最も高く、次いで「LINE」84.0%、「Instagram」64.1%となっています。
- 年齢でみると、「電話」や「メール」は、年齢が上がるにつれて、高くなっています。
- 男女別でみると、「Instagram」は男性が 48.4%であるのに対し、女性は 74.0%、「TikTok」は男性が 19.0%であるのに対し、女性は 39.4%と開きがあり、女性のほうが利用率が高いようです。



年齢別集計

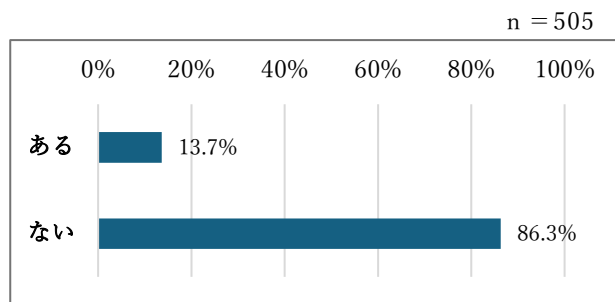
	調査数	電話(アプリ通話含む)	メール(携帯電話、パソコンなど)	TikTok	Instagram	X (旧 Twitter)	LINE	You Tube	Face book	その他のSNS、チャットアプリ	その他
全体数(n)	503	181	125	161	325	256	426	433	15	38	48
19～22 歳	単位 (%)	24.3	19.2	39.1	27.1	24.2	24.4	26.1		42.1	41.7
23～26 歳		29.8	28.0	29.2	32.0	35.9	32.9	30.9	26.7	31.6	27.1
27～29 歳		43.1	47.2	28.6	37.2	35.9	39.0	38.8	53.3	23.7	29.2
その他		2.8	5.6	3.1	3.7	3.9	3.8	4.2	20.0	2.6	2.1

男女別集計



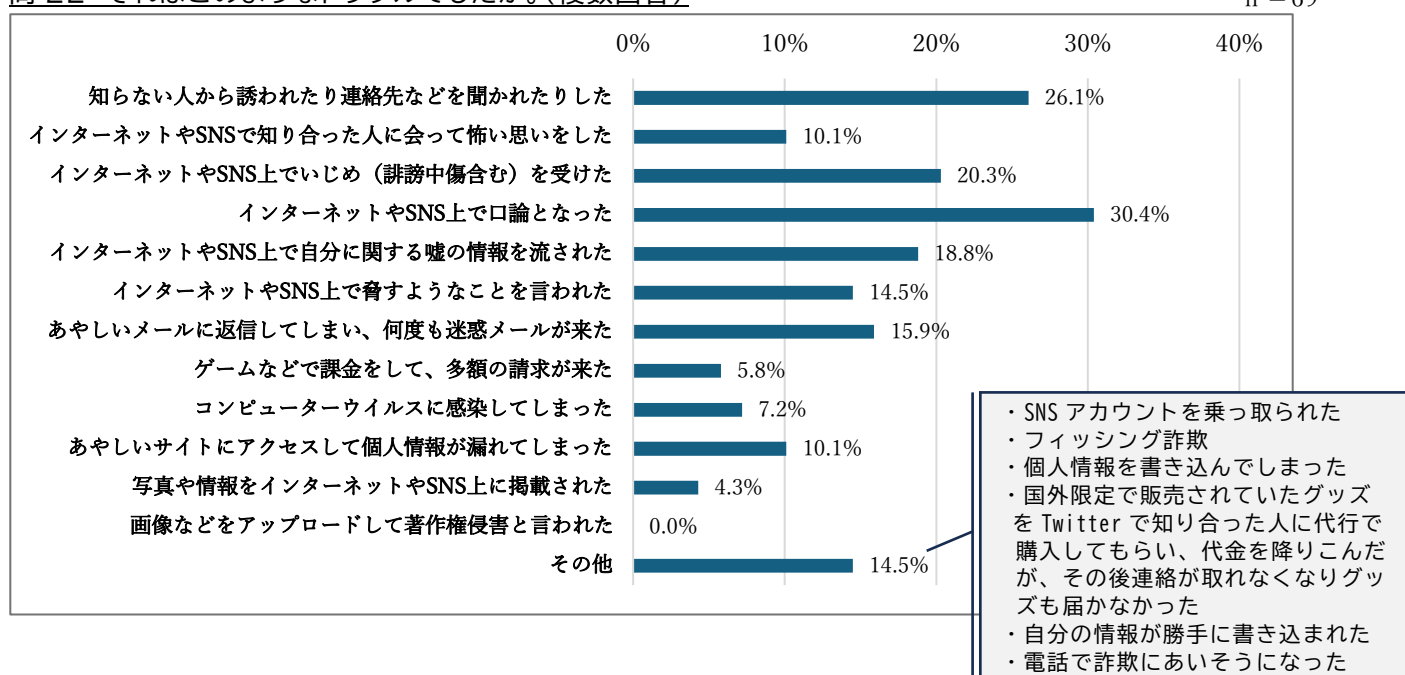
問 21 インターネットや SNS でのトラブルの経験はありますか。

- 「ない」が 86.3%、「ある」が 13.7%(69 人)となっています。



問 21 で「ある」と答えた 69 人について

問 22 それはどのようなトラブルでしたか。(複数回答)

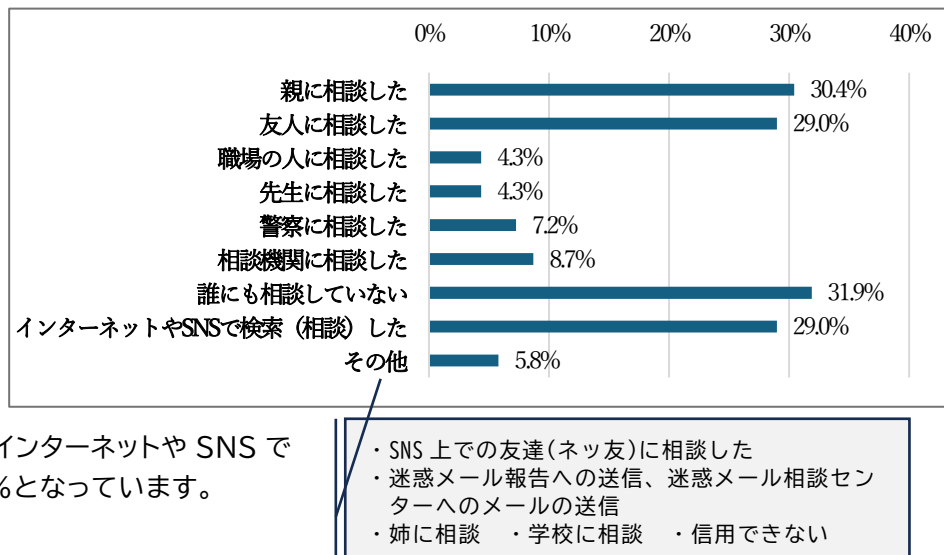


- 「インターネットや SNS 上で口論となった」が 30.4%と最も高く、次いで「知らない人から誘われたり連絡先などを聞かれたりした」が 26.1%、「インターネットや SNS 上でいじめ(誹謗中傷含む)を受けた」が 20.3%となっています。

問 23 トラブルがあったときにどのように対応しましたか。(複数回答)

- 「誰にも相談していない」が 31.9%と最も高く、また「その他」では「信用できない」との意見もあることから、インターネットや SNS でのトラブルの対応、相談することの難しさが伺えます。

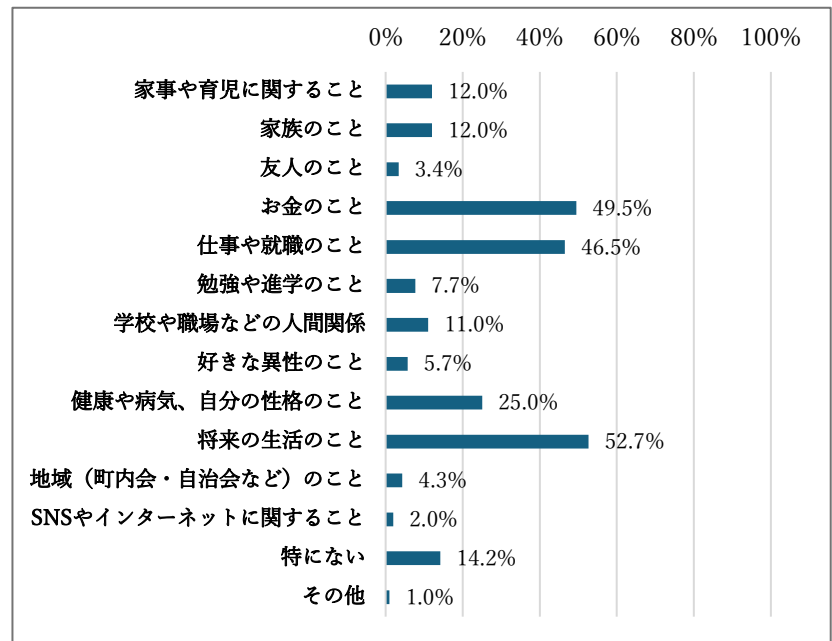
- 対応した場合には、「親に相談した」が最も高く 30.4%、次いで「友人に相談した」と「インターネットや SNS で検索した」がいずれも 29.0%となっています。



問 24 次の中で、困っていることや悩んでいることはありますか。(複数回答)

n = 507

- 「将来の生活のこと」が 52.7% と最も高く、次いで「お金のこと」が 49.5%、「仕事や就職のこと」が 46.5%となっています。

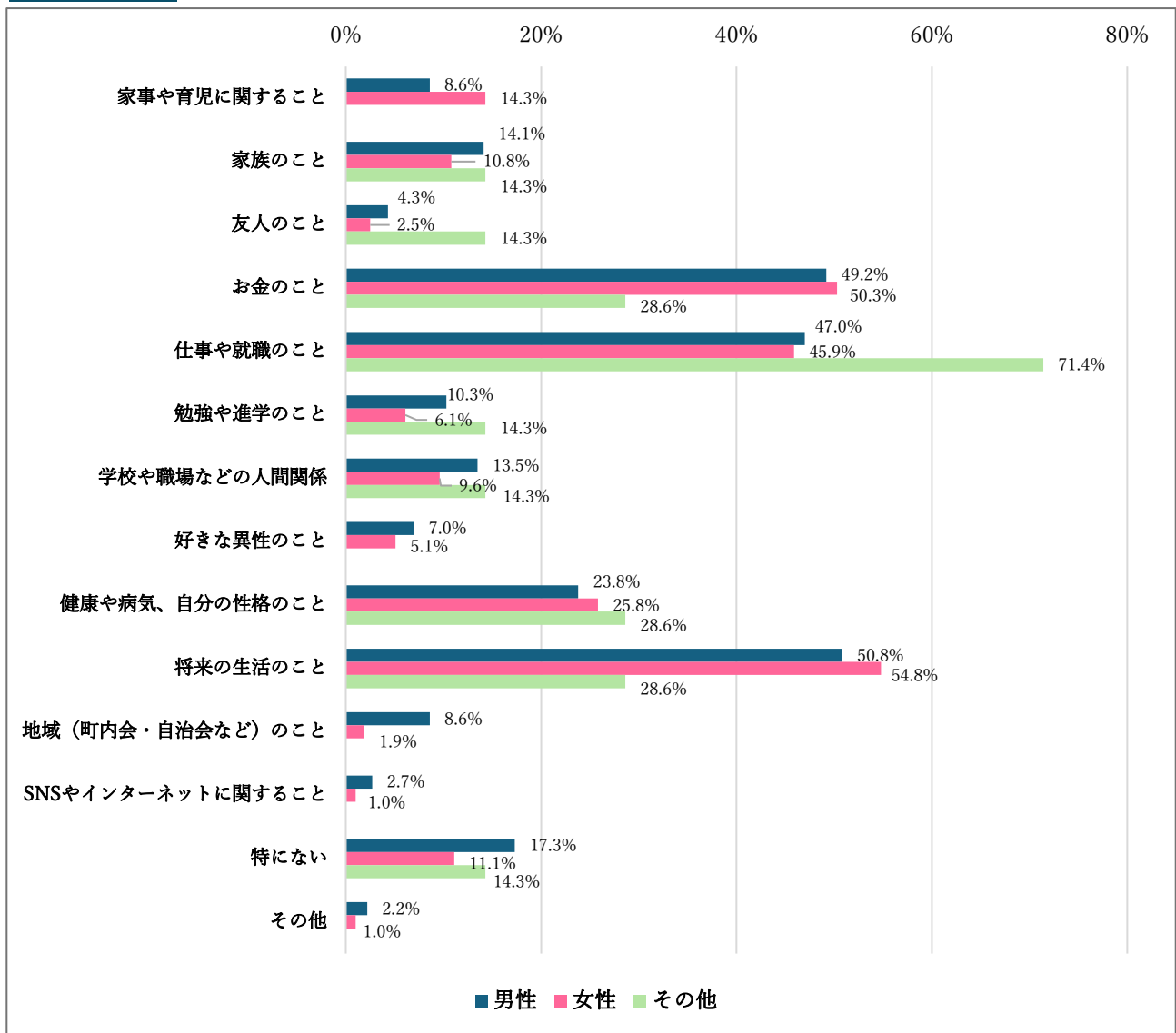


年齢別集計

	調査数	家事や育児に関すること	家族のこと	友人のこと	お金のこと	仕事や就職のこと	勉強や進学のこと	学校や職場などの人間関係	好きな異性のこと	健康や病気、自分の性格のこと	将来の生活のこと	地域(町内会や自治会など)のこと	SNSやインターネットに関すること	特にない	その他
全体数(n)	506	61	61	17	251	236	39	56	29	127	268	22	8	68	7
19～22 歳	単位 (%)	8.2	16.4	29.4	20.7	27.5	64.1	19.6	34.5	25.2	22.8	9.1	25.0	29.4	14.3
23～26 歳		23.0	32.8	29.4	33.9	35.2	12.8	44.6	41.4	30.7	33.2	31.8	12.5	23.5	42.9
27～29 歳		59.0	47.5	29.4	41.0	33.9	20.5	32.1	24.1	41.7	40.3	50.0	62.5	42.6	28.6
その他		9.8	3.3	11.8	4.4	3.4	2.6	3.6	—	2.4	3.7	9.1	—	4.4	14.3

- 年齢でみると、「家事や育児に関すること」、「家族のこと」、「地域(町内会や自治会など)のこと」などは、年齢が上がるにつれて、高くなっています。
- 「学校や職場などの人間関係」、「好きな異性のこと」は、23～26歳が最も高くなっています。
- 男女別でみると、「家事や育児に関すること」は男性が 8.6%であるのに対し、女性は 14.3%であり、女性が高くなっています。
- その一方、「勉強や進学のこと」は男性が 10.3%であるのに対し、女性は 6.1%、「学校や職場などの人間関係」は男性が 13.5%であるのに対し、女性 9.6%であり、男性が高くなっています。

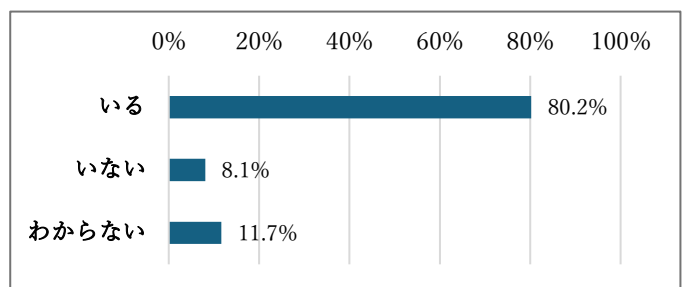
男女別集計



問 25 あなたは、困りごとや悩みごとを相談できる人がいますか。

n = 506

- 「いる」が 80.2% (406 人) と最も高く、次いで「わからない」が 11.7%、「いない」が 8.1% (41 人) となっています。



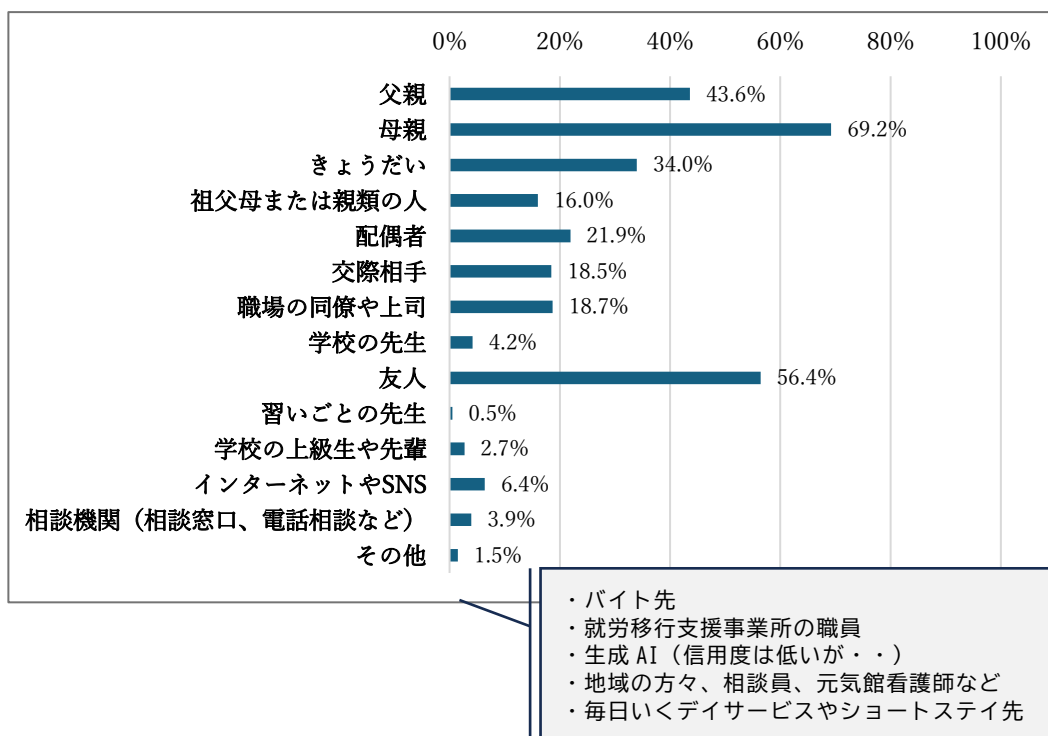
令和 6 年度 子どもアンケート(第三期柏崎市子ども・子育て支援事業計画策定に伴う)との比較

- 子どもアンケートでは、「いる」が 83.1% と最も高く、次いで「わからない」が 13.2% となっています。

問 25 で「いる」を選択した406人について

問 26 あなたが相談できると思う人はだれですか。(複数回答)

n = 406

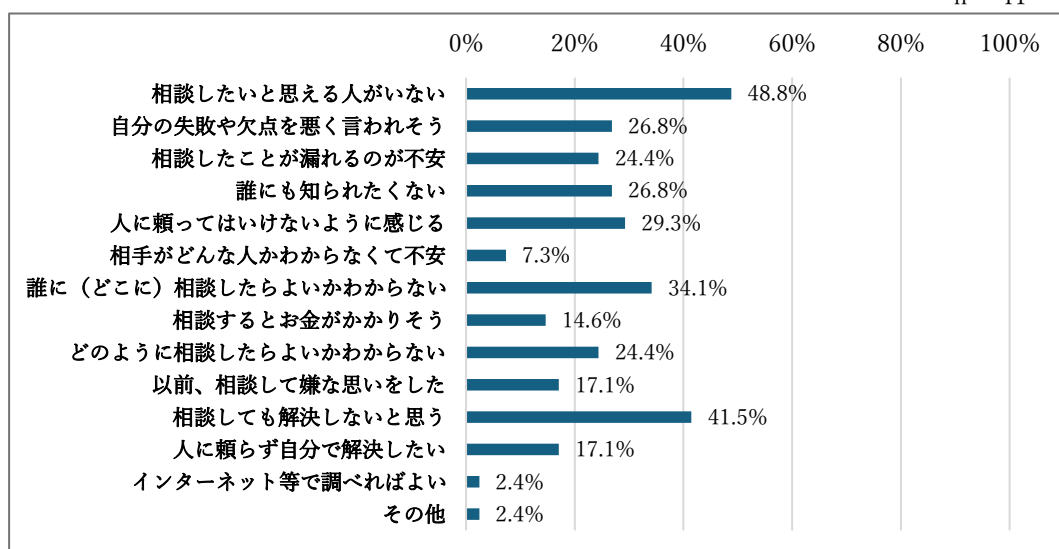


➤ 「母親」が 69.2%と最も高く、次いで「友人」56.4%、「父親」43.6%となっています。

問 25 で「いない」を選択した41人について

問 27 相談できると思う人がいないと考える理由は何ですか。(複数回答)

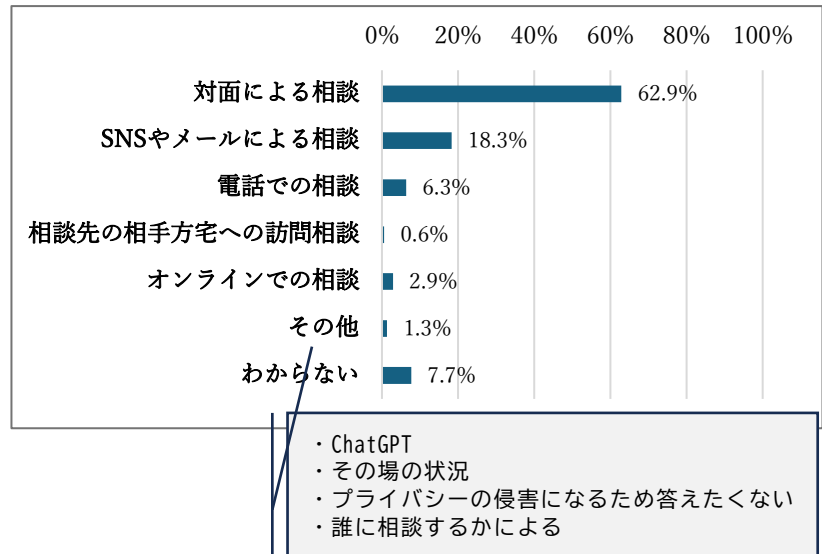
n = 41



➤ 「相談したいと思える人がいない」が 48.8%と最も高く、次いで「相談しても解決しないと思う」が 41.5%、「誰に（どこに）相談したらよいかわからない」が 34.1%となっています。

問 28 相談するとしたら、最も相談しやすい方法は何ですか。

n = 506

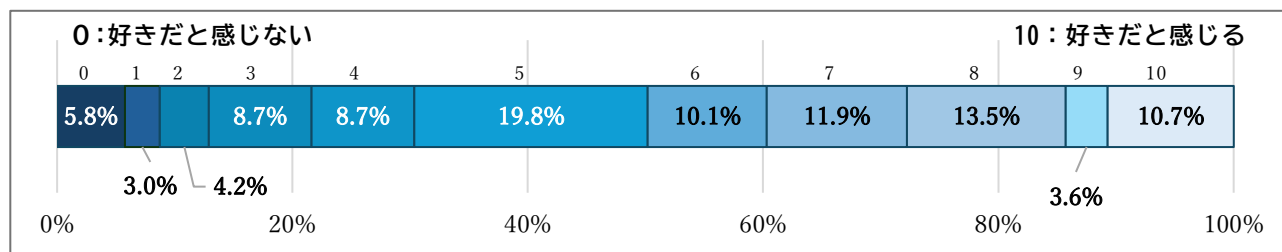


- 「対面による相談」が 62.9%と最も高く、次いで「SNS やメールによる相談」が 18.3%となっています。

6. 回答者の気持ち・考えについて

問 29 全体として、あなたは自分のことが好きだと感じますか。

n = 504



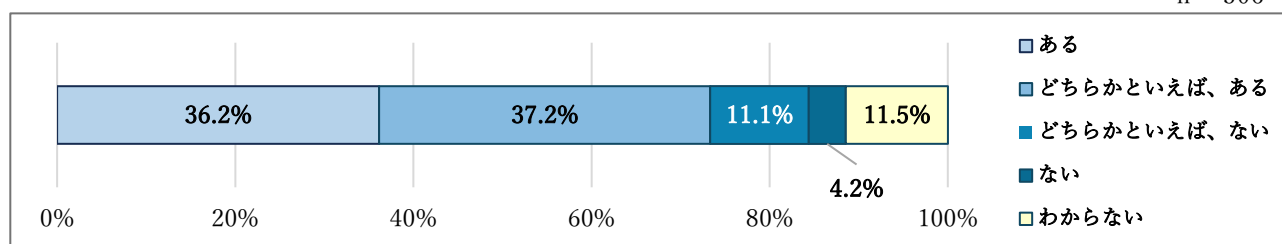
- 「5」の19.8%が最も高く、次いで「8」の13.5%、「7」の11.9%となっています。
- 評価に回答率を乗じて100%で除し平均評価を算出すると5.6になります。

令和6年度 子どもアンケート(第三期柏崎市子ども・子育て支援事業計画策定に伴う)との比較

- 子どもアンケートでは、「5」が22.5%と最も高く、次いで「10」が20.8%、「8」が11.8%となっています。平均評価は6.4です。

問 30 自分には自分らしさというものがあると思いますか。

n = 506



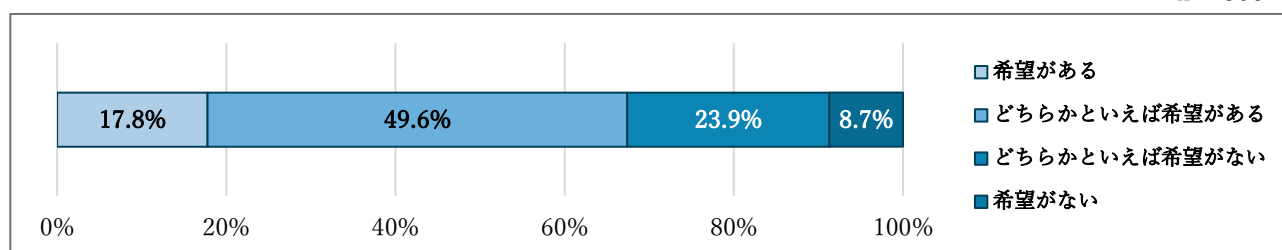
- 「どちらかといえば、ある」の37.2%が最も高く、次いで「ある」が36.2%となっています。合計すると「ある」の回答は、73.4%を占めます。

令和6年度 子どもアンケート(第三期柏崎市子ども・子育て支援事業計画策定に伴う)との比較

- 子どもアンケートでは、「ある」が47.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば、ある」が31.5%です。合計すると「ある」の回答は78.7%を占めます。

問 31 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。

n = 506



- 「どちらかといえば希望がある」の49.6%が最も高く、次いで「どちらかといえば希望がない」が23.9%となっています。

令和 6 年度新潟県 若者意識調査との比較

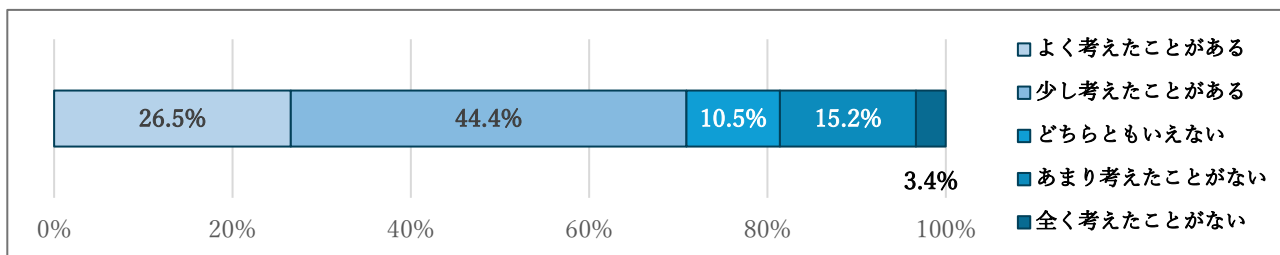
- 県の調査では、「どちらかといえば希望がある」が 37.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば希望がない」が 23.0%となっています。

令和 4 年度子ども家庭庁(内閣府) 子ども・若者の意識と生活に関する調査との比較

- 国の調査では、「どちらかといえば希望がある」が 42.4%と最も高く、次いで「希望がある」が 24.1%となっています。

問 32 自分の人生設計(ライフプラン)を考えたことがありますか。

n = 505

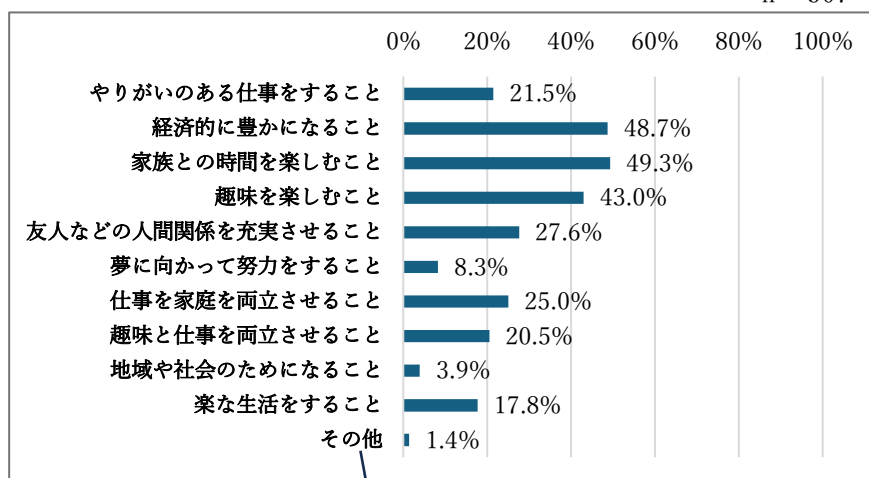


- 「少し考えたことがある」の 44.4%が最も高く、次いで「よく考えたことがある」が 26.5%、「あまり考えたことがない」が 15.2%となっています。

問 33 あなたは、生きていくうえで、何を重視しますか。(3つまで回答)

n = 507

- 「家族との時間を楽しむ」の 49.3%が最も高く、次いで「経済的に豊かになる」が 48.7%、「趣味を楽しむ」が 43.0%となっています。

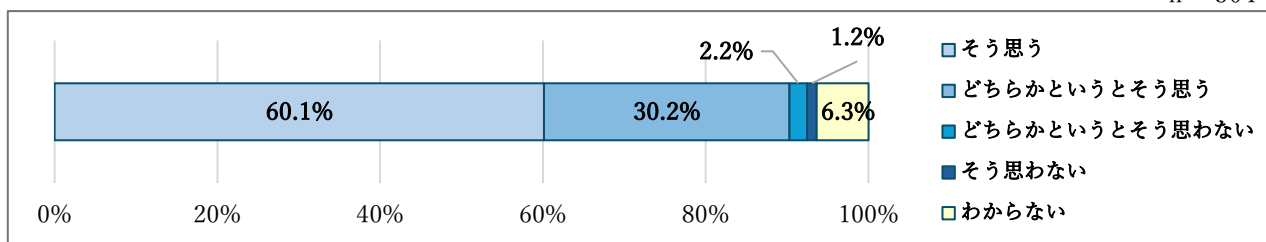


- ・人の役に立てること
- ・目的達成、精神的に豊かな生活の実現
- ・自分の考え方や信念を脅かされないこと
- ・健康な身体を生活している間は維持する
- ・食事等を楽しむ
- ・障害者なので全介助
- ・早めに死ぬること

問 34 子どもや若者について、次のうち、あなたの認識に近いものはどれですか。

1 子どもは権利の主体だと思う。

n = 504



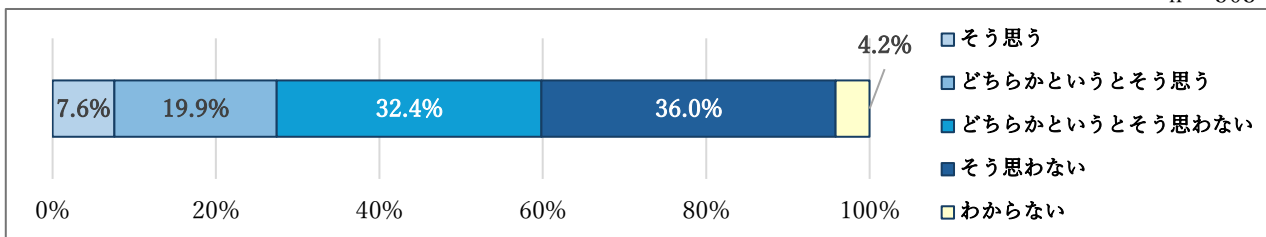
- 「そう思う」の 60.1%が最も高く、次いで「どちらかというと思う」が 30.2%となっています。
- 「そう思う」の回答を合計すると 90.3%、「そう思わない」の回答を合計すると 3.4%です。

令和 5 年度子ども家庭庁 子ども政策の推進に関する意識調査との比較

- 国の調査では、「そう思う」の回答は 54.4%、「そう思わない」の回答は 23.4%です。

2 子どもや若者の遊びや体験の場が身近に十分あると思う。

n = 503



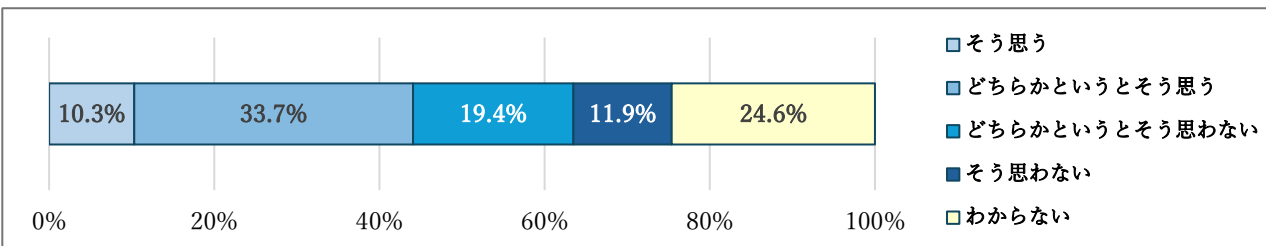
- 「そう思わない」の 36.0%が最も高く、次いで「どちらかというと思わない」が 32.4%となっています。
- 「そう思う」の回答を合計すると 27.5%、「そう思わない」の回答を合計すると 68.4%です。

令和 5 年度子ども家庭庁 子ども政策の推進に関する意識調査との比較

- 国の調査では、「そう思う」の回答は 40.4%、「そう思わない」の回答は 41.7%です。

3 学校でのインクルージョンが推進されていると思う。

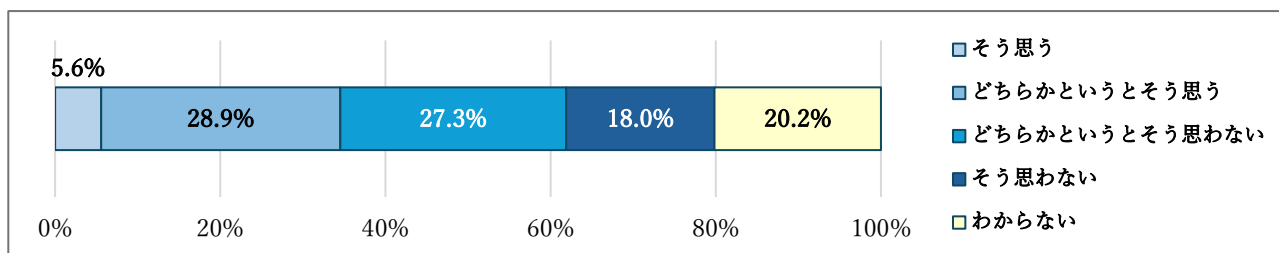
n = 504



- 「どちらかというと思う」の 33.7%が最も高く、次いで「どちらかというと思わない」が 19.4%となっています。「そう思う」の回答を合計すると 44.0%、「そう思わない」の回答を合計すると 31.3%です。

4 障がいや発達特性があっても地域で暮らしやすいと思う。

n = 501



- 「どちらかというと思う」の 28.9%が最も高く、次いで「どちらかというと思わない」が 27.3%となっています。
- 「そう思う」の回答を合計すると 34.5%、「そう思わない」の回答を合計すると 45.3%です。

令和 6 年度新潟県 若者意識調査との比較

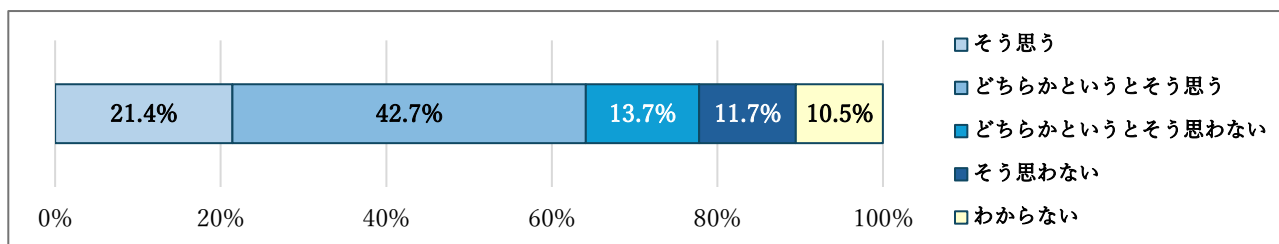
- 県の調査では、「そう思う」の回答は 29.5%、「そう思わない」の回答は 47.5%です。

令和 5 年度子ども家庭庁 子ども政策の推進に関する意識調査との比較

- 国の調査では、「そう思う」の回答は 27.2%、「そう思わない」の回答は 47.5%です。

5 学校は、安心して過ごせる大切な居場所の1つだと思う。

n = 504



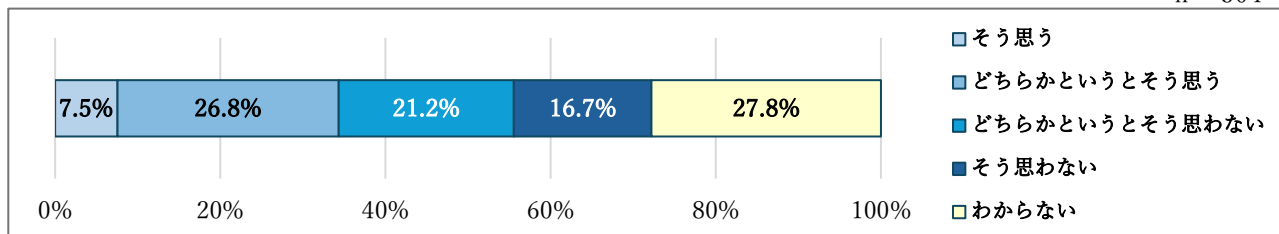
- 「どちらかというと思う」の 42.7%が最も高く、次いで「そう思う」が 21.4%となっています。
- 「そう思う」の回答を合計すると 64.1%、「そう思わない」の回答を合計すると 25.4%です。

令和 5 年度子ども家庭庁 子ども政策の推進に関する意識調査との比較

- 国の調査では、「そう思う」の回答は 54.4%、「そう思わない」の回答は 30.0%です。

6 こころのケアへの情報や支援が十分に整っていると思う。

n = 504



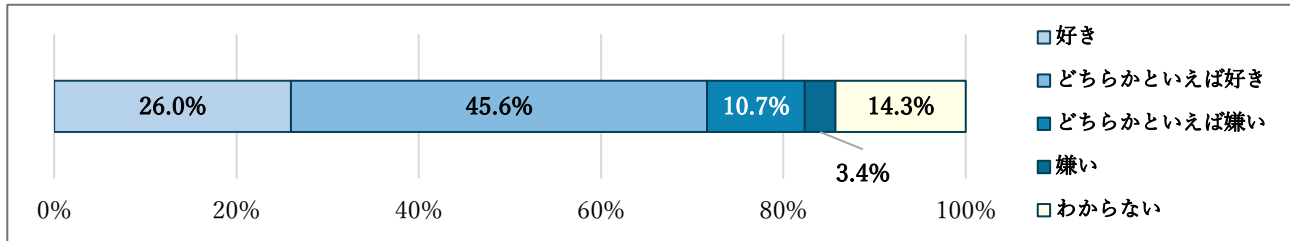
- 「どちらかというと思う」の 26.8%が最も高く、次いで「どちらかというと思わない」が 21.2%となっています。
- 「そう思う」の回答を合計すると 34.3%、「そう思わない」の回答を合計すると 37.9%です。

令和 5 年度子ども家庭庁 子ども政策の推進に関する意識調査との比較

- 国の調査では、「そう思う」の回答は 43.1%、「そう思わない」の回答は 37.8%です。

問 35 あなたは、柏崎市が好きですか。

n = 504



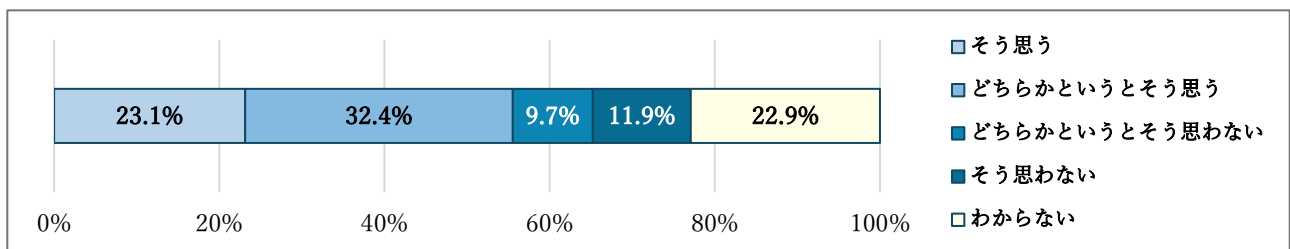
- 「どちらかといえば好き」の45.6%が最も高く、次いで「好き」が26.0%となっています。
- 「好き」の回答を合計すると71.6%、「嫌い」の回答を合計すると14.1%です。

令和6年度 子どもアンケート(第三期柏崎市子ども・子育て支援事業計画策定に伴う)との比較

- 子どもアンケートでは、「好き」の回答は80.9%、「嫌い」の回答は8.0%です。

問 36 国・県・市の取組に、自分の意見を反映させたいと思いますか。

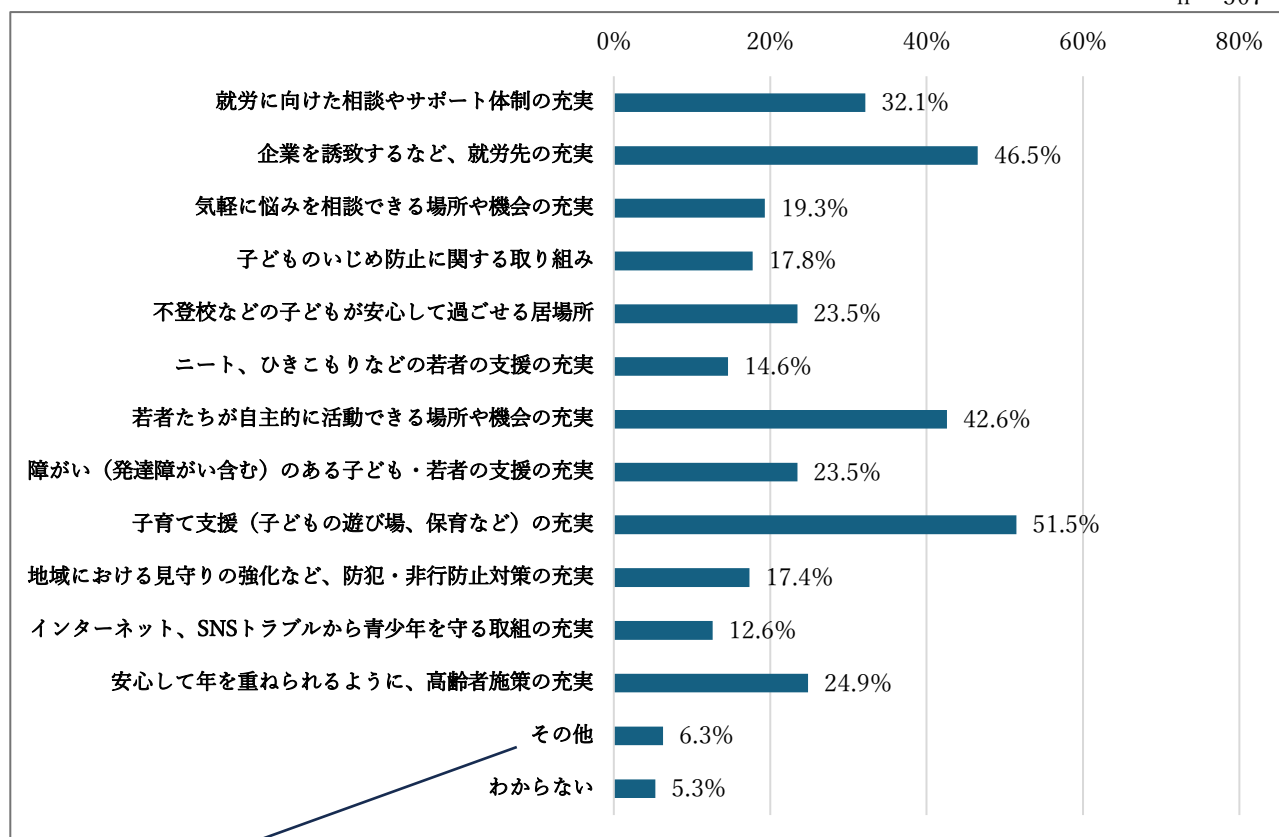
n = 506



- 「どちらかというと思う」の32.4%が最も高く、次いで「そう思う」が23.1%となっています。
- 「そう思う」の回答を合計すると55.5%、「そう思わない」の回答を合計すると21.6%です。

問 37 柏崎市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。(複数回答)

n = 507

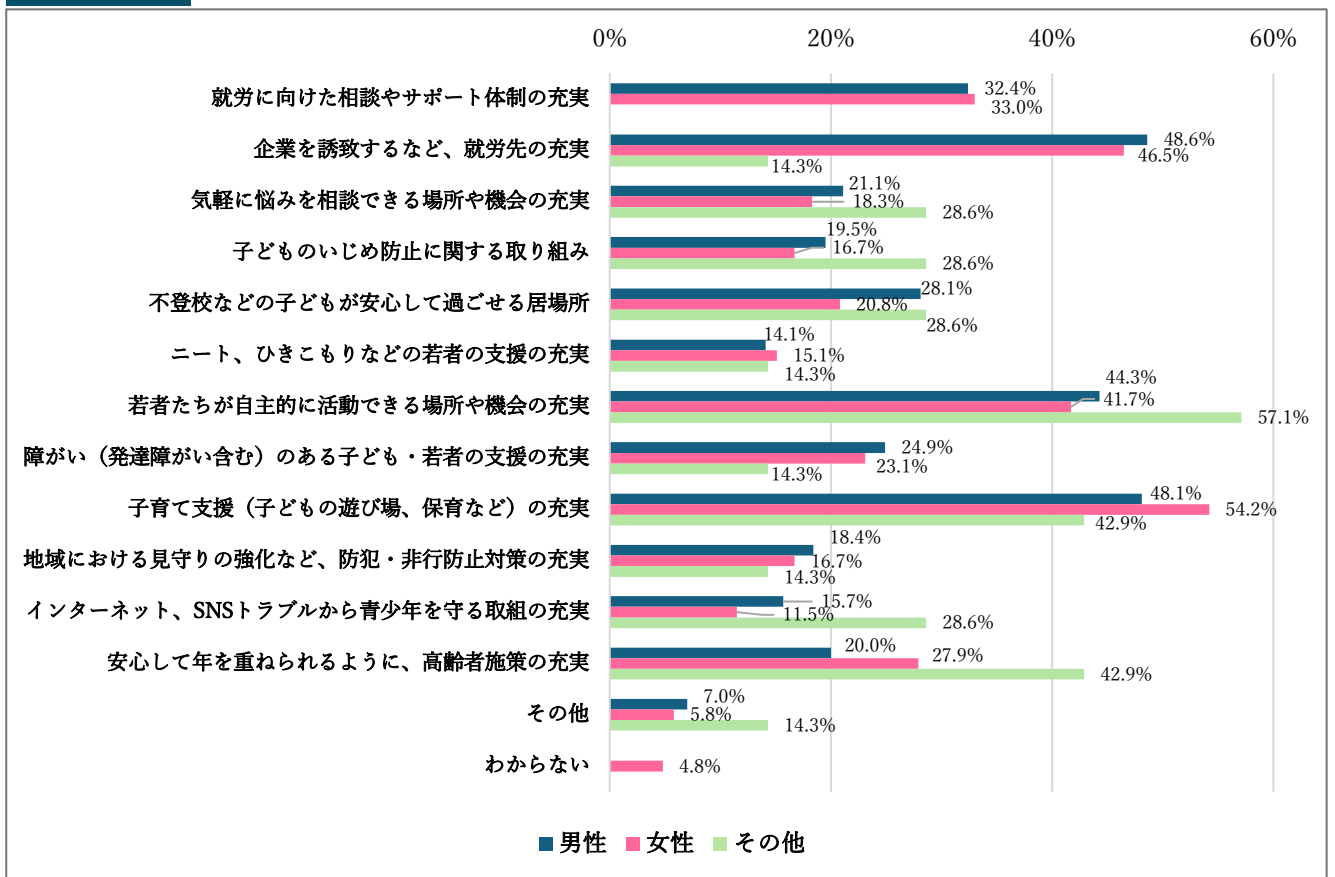


- ・お店が少なすぎる、潰れてばかり。 ・そもそも娯楽が無さ過ぎる。
- ・ネットカフェや映画館など若者が遊べる場所を増やしてほしい。
- ・医学部生や研修医に奨学金を貸与して、柏崎で医師として働いてもらい医師を確保する。
- ・医療機関の充実 ・医療費無料化になると嬉しいです。
- ・教職員の業務量の改善、業務内容の検討(小学校しかわからないですが、19時半には仕事が終わりにきらず、毎週土曜日まで出勤する職員がかなりたくさんいます)。
- ・原発の安全性を高めること ・交通インフラの整備 ・公共交通機関（便の数）拡充
- ・郊外の子は図書館に行けないので、家庭環境が悪いと意欲があっても学習ができない。
- ・子育て支援より、まず結婚支援を打ち出したら良い。住居斡旋など若い人が定住する施策など
- ・若者が行ける場所を増やす。コストコや映画館、遊園地、喫茶店、サイゼリヤなど。柏崎はなんにも無いという声が多すぎる。遊び場を作る必要がある
- ・生活には不便はないが、余暇を楽しむ場所が少なすぎる。土地はあるのだから大型ショッピングモールやアウトレtparkなどの誘致をして、人が集まる街にして欲しい。
- ・地域全体の賃金向上に向けた支援の拡充 ・道路、歩道の保全
- ・柏崎市民が嫌い、悪い人を放っておかず、警察は捕まえて欲しい。警察にメールで相談しても意味ない。迷惑メールとか、身に覚えのない電話がかかってくる不安から、知っている電話番号以外から電話が来ると心配である。身近な人によるものではないかと思って、人間不信になる。
- ・遊ぶ場所がなさすぎる。友人とご飯を食べに行こうと思っても行ける場所がない。
- ・東京方面に行きやすい交通手段の増加を求めたい。
- ・安心して生活ができる環境が大切だと思う。安心して子育て、育児ができる体制を整備していかないとこれから先が不安。金銭面でもサポートしてもらえるシステムがあると良い。
- ・老若男女、生活に苦しむ人、障がいの有無に関係なくみんな平等に向き合ってほしい。
- ・子ども・若者が育っても大人になり出て行ってしまう。大学進学で戻ってこない人がほとんど。若者が戻ってきたいと思う遊び場、企業の誘致を早急にしないと人口減少に歯止めがきかなくなる。
- ・昔と比べると遊ぶ場所や公園、お店等が減ったと感じる。高齢化が進む中、車を手放す方も増えると思う。電車やバス、タクシーが身近にあればよいと思う。特に冬の期間が心配。家の雪下ろし等手伝ってくれるボランティアがあればよい（既にあったらすみません）。
- ・できるなら全部をして頂きたいです。「高齢者施策の充実」はもう十分なのでは？
- ・楽しいイベントを企画してほしい。モールのような所があるといいと思います。
- ・障害を持つ子供・若者の親（高齢介助者）の心身の安定がとれる場所・医療的には病気予防・ワクチンの費用助成（年齢関係なく）。例えばコロナ、インフル、帯状疱疹など 65 才以上からは納得がいかないです。障害児・者を介助毎日同居でしている人のワクチン費用はせめて高齢者対応と同じにしてほしいと思います。

年齢別集計

	調査数	就労に向けた相談やサポート体制の充実	企業を誘致するなど、就労先の充実	気軽に悩みを相談できる場所や機会の充実	子どものいじめ防止に関する取り組み	不登校などの子どもが安心して過ごせる居場所、多様な学びの場の充実	ニート、ひきこもりなどの若者の支援の充実	若者たちが自主的に活動できる場所や機会の充実	障がい（発達障がい含む）のある子ども・若者の支援の充実	子育て支援（子どもの遊び場、保育など）の充実	地域における見守りの強化など、防犯・非行防止対策の充実	インターネット、SNSなどのトラブルから青少年を守る取組の充実	安心して年を重ねられるように、高齢者施策の充実	その他	わからない
全体数(n)	504	163	236	98	90	119	74	216	119	261	87	67	127	32	15
19～22 歳	単位 (%)	26.4	27.1	21.4	33.3	34.5	29.7	28.2	28.6	23.8	29.9	35.8	26.0	18.8	20.0
23～26 歳		35.6	29.7	34.7	25.6	23.5	31.1	31.5	32.8	30.3	32.2	22.4	30.7	37.5	33.3
27～29 歳		35.0	38.6	37.8	37.8	36.1	33.8	35.6	32.8	41.8	35.6	37.3	39.4	37.5	46.7
その他		3.1	4.7	6.1	3.3	5.9	5.4	4.6	5.9	4.2	2.3	4.5	3.1	6.3	—

男女別集計



- 「子育て支援（子どもの遊び場、保育など）の充実」が 51.5%と最も高く、次いで「企業を誘致するなど、就労先の充実」が 46.5%、「若者たちが自主的に活動できる場所や機会の充実」が 42.6%となっています。
- 年齢でみると、「子育て支援（子どもの遊び場、保育など）の充実」と回答した割合は、年齢が上がるにつれて高くなっています。
- 男女の回答割合に、大きな差はないようです。

7. 柏崎市に求めること・期待すること

問38 柏崎市に求めること・期待することなど(自由記載)

「子どもの遊び場」に関する記載

- ・赤ちゃんが土日に遊べる広場が少ない。公園の遊具は3歳以上がほとんどで、それ以下の赤ちゃんの遊具をもっと少し増やして欲しい（1箇所でもいいので）。
- ・休日に複数の親子が無料で過ごせる場所がもう1箇所くらいほしい。キッズマジックはとてもありがたいが、感染症が不安でなかなか利用できない。
- ・キッズマジックは広くはなりましたが、遊具が小さく幼児向けだと思います。思い切ってフォンジェ全体を子どもの遊び場にするとよいのではないのでしょうか。柏崎はすべてが中途半端な印象です。
- ・キッズマジックが新しくなるととても良かったと思います。休日の混雑状況など改善策を考えて欲しいです。
- ・雨天時冬期間の子どもの遊び場が少ない。キッズマジックだけでは不十分。キッズマジックは設備的に幼児向け、キャパも小さい。
- ・高齢化が進み老人ホーム等多くなってきていて、子供が遊べるような場所や安心して子供を預けられる場所が少ないと思います。
- ・子どもが安全に、楽しく遊べる施設が少なすぎる。
- ・子どもの遊び場の整備をお願いします。
- ・子どもや若者の遊び場が圧倒的に少ないと感じます。
- ・子供時代に、お店や遊び場・遊具のラインナップがしっかりある公園がどんどん減っていったので「遊びに行くといえばまずは長岡に行く」が前提となってしまった上に、子供だけで電車やバスを使って遠出することは保護者から止められることが多かったので休日に友人とどこかへお出掛けするといったことができなかった、遊ぶといえばゲームになってしまった、という印象があります。イベントなどの限られた期間の娯楽ではなく、子供達が行動できる範囲内に楽しいと思える遊び空間やお店が常にあるととても嬉しかったのに、と今でも強く思っています。
- ・子供が遊べる室内遊び施設をもっと増やしてほしい。公園に遊具を置いてほしい。子供が楽しめる場所が全然ないと思うので作ってほしい。
- ・子供が遊びやすいよう、公園など増やして欲しい。家の周りで親がついて見ているのに、危ないからと警察を呼ばれたので遊び場がないと思う。
- ・公園でボールが使えないのはいかがでしょうか。子どもの遊びに制限をかけ過ぎると思います。
- ・冬にボール（サッカー・野球・テニス）などができる場所がほしい。
- ・公園がもっとほしいです。
- ・駅前公園にももう少し遊具を入れて欲しいです。
- ・子どもや若者の遊び場の充実を図って欲しいです。例えば、公園などの友人と遊ぶ際に行ける場所が増えて欲しいです。
- ・子供達が楽しめ、体験できるイベント等を増やして欲しいです。
- ・子どもが遊べる場所がほしい。
- ・子どもの遊び場（室内）がもう1件くらい出来たら嬉しいです。
- ・このようなアンケートの取組、とても感謝いたします。柏崎は自然がたくさんあり、決して悪いところではないと思います。言うのは簡単かと思いますが、もっと海や山を売りにし、子供たちが遊べる施設がもう少しあると、少子化も改善されるかな、と思います。県外、市外からも人が移住したいと思われる様な柏崎を期待します。
- ・公園が充実すれば、外で遊ぶ機会が増えて、子どもや大人にとっても良いと思います。
- ・子どもたちが安心して遊べる場所を増やしてほしい。
- ・外で遊べる施設・公園の充実化
- ・こどもの遊ぶ場所が少ない。
- ・室内での遊び場が増えれば、運動不足の小中学生が減ると思う。

- ・遊び場が欲しいです！若者が少ないのもっと子どもが過ごしやすい街づくりをして少子高齢化を防いでいくべきだと思います！
- ・遊具等が充実した公園はいくつかあるが、人が多い日が多く子供をめいっぱい遊ばせることが出来ない時がある。
- ・発達障害の子を育てていますが待つことができず癇癪を起こしやすいです。平日に空いているだろうとキッズマジック行った際少し待たされることがありました。子が待つことができればいいのですが難しくパニックになってしまいました。そこで手帳持ちならスムーズに入れたり、スマホ等で混雑状況がわかったりすると嬉しいなと思いました。

「学校」に関する記載

- ・どの学校も子供の数が減って来ているため、掃除が大変そう。トイレ掃除は業者委託にするなど工夫をしてほしい。
- ・学校の冷暖房整備。夏は暑いし、冬はとても寒い。市役所の人は冬に薄着だと思ったが、学校の子どもは冬に屋内でも上着を着て過ごしていた。
- ・子どもたちが学ぶ場所は安全で安心した場所にしてほしい。気温に左右されて勉強に集中できないこともあると思う。
- ・学校教育の充実（教員数を増やす等）
- ・専門学校、大学等の学校を増やしてほしい。

「交流/活動の場」に関する記載

- ・若者が無料で集まれる場所を増やしてほしい。
- ・関東から柏崎市に来たが都内のように若者が集まるような店などが無さすぎる。これではみんな上京してしまうのがわかる。高齢者向けのような街になっていると感じるので新潟市のような人が集まる施設を作って欲しい。
- ・柏崎で交流を深める目的でも、公共交通機関を盛んに整備し、柏崎市内で運動などを通じて交流の場を作るべき。
- ・人口が減少すれば市民の生活を高い水準で維持することが難しいため、若者が集う場所を充実させ、ずっと住みたいと感じさせる必要があると考える。
- ・高校卒業や就職で市外へ出ていく人がいる一方、大学を終えてリターンしてくる人や市外から転入してくる人もいると思います。そのような柏崎にいる若者がつながることができる（もしくは集うことができる）場があっても良いと思います。
- ・若者が無料で集まれる場所を増やしてほしい。
- ・若者たちが活動できる場をふやしてほしい。
- ・若者が活発に意見交換できる居場所があるとよい。
- ・自然は豊かであるし、街の人も優しいと思うが、多くの人と触れ合うことや、人混み等に慣れることもひとつの社会経験であると思うので、安心して過ごすことはもちろんであるが、もう少し人が集まるような工夫をして欲しい。
- ・出会いの場が必要。

「子育て支援/出産支援」に関する記載

- ・教育費はこのままお金をかけてほしい。
- ・もっと子育て支援が充実して安心して子どもを育てられる環境が整ってほしいです。
- ・今の時代、子育ての支援が必要な世帯が多いし、年齢も若くなっている。
- ・子育て支援が充実しているのであれば、そのことを高校生、大学生などの学生にも広めてほしい。
- ・仕事をしながら子育てができるような環境をもっと整えてほしい。
- ・子どもを持つ家庭への支援や補助が少なすぎる。改善に期待する。
- ・子どもの将来まで考えて、安心して子育てしていきたいと思いますが、金銭的に余裕がありません。
- ・子育て支援を今よりもさらに手厚くサポートし柏崎市に住みたいと思える人がもっと増えることを願っている。
- ・子育て支援を充実させて、住みたいと思わせることが必要だと思います。少子高齢化が進んで学校の統合ばかりなので、金銭面や子育てしながら働きやすい環境などにもっと目を向けてほしいです。
- ・子育て世帯にゴミ袋が給付されているが 14L タイプでは小さすぎるため使用できず溜まっていく一方だ。個数が現状より少なくなったとしても 25L タイプを給付して頂いた方がより多くの世帯で余ることなく使用しやすいのではないかと思います。
- ・子供がいる家庭に送られるゴミ袋 S サイズ、小さすぎて使わないので M にして欲しい。もらえるだけありがたいけど、おむつのゴミは沢山出るので。
- ・子供を産んだり、育てたりすることに関する支援は近くの市に比べれば頑張っていると思います。私は今年第二子を出産するのですが、第一子を育てている中で、受けられる支援お金の面など特に、気づいて申請しなければ貰えないもの、知っている人だけ得することなど多いと感じます。難しい言葉で説明されることも多いです。もっともっと世の中、楽に簡単にわかりやすくなるといいなと願っています。あとは産科などの医療の充実を期待します。個人病院では産めず、大きい病院も他の地域では産科がなくなるのでは？というニュースが出るなど、近くで産めなくなるのかと不安になります。贅沢かもしれませんが、医療センターも古いので新しくなると、なおいいな！と思います。最近、病院食も（産科は？）美味しいところが増え、選ぶ基準になっているので充実するといいなと思います！柏崎市の話ではないかもしれませんが！期待しています！！
- ・柏崎市で子育てがしたいと思えるような子育て制度とその周知が必要。
- ・子育て支援の充実が必要だと思います。
- ・子育て支援を充実させて、子育てに強い町＝柏崎市と、みんなが思えるような町にしてもらいたいです。
- ・子育て支援や出生率向上に向けた活動はやめて欲しい。それらは支持できない（生むだけ生んでまともに育てられず育児放棄や虐待が増え、苦しむ子どもが増えてしまうから）（また、国全体も衰退しており、焼け石に水にしか思えず、その点でも無意味に思うのもあるから）。
- ・子育てをする上で金銭的な支援がもっと増えたら嬉しいです。
- ・子どもの病院費用を 0 円にしてほしい。特に小さい子どもはよく風邪を引くので、毎回お金がかかるときつい人もいると思う。実際に 0 円の県もあるので柏崎市もそうして欲しい。
- ・一人親の家庭だと、子どもが熱を出すとその分仕事に行けず（病児保育はあるが子どもは熱を出すとママがいいと言い出すから預けるのはかわいそう）、会社の人から冷たい目で見られて働きづらくなり、仕事を辞める人もいると思うので、一人親向けの企業があると安心して働けるのではないかと思います（すでにあつたらすみません）。
- ・高齢者には、オムツ券があるのに子育て世帯には配布されていない。スターチケットがあるとはいえ、子育てには優しくないと感じる。ゴミ袋も「小サイズ」だけでなく「中サイズ」も欲しい。（オムツだけで袋を満タンにすることはないため、他のゴミと一緒に入れると中サイズが好ましい。）現状、4 人暮らしでゴミを出すのは「中（M）サイズ」の袋を使用している。妊婦検診（初期）の検診も全額助成が必要。安定期過ぎてからでは遅い。柏崎保育園の玄関と駐車場の距離が長いため、路面上の整備。駐車場がアクアパークと一緒に？のため、送迎の親が車を停めるスペースがない時がある。最低限 5～7 台くらい保育園専用スペースを確保した方がよい。子供達の安全につながると思う（保育園は直接関係ないと思うが、柏崎市立といっている以上、改善していただきたい）。
- ・子育てしやすいように、経済的支援をしてほしい。

- ・子育てしやすい環境、状況になれば、子どもを安心して産んで育てられると思います。共働きが当たり前のこと時代に有給が足りず、子育てと仕事の両立が本当に難しいです。有給（子育て世帯）を市で少し負担していただけるととても助かります。
 - ・自分は住民票が柏崎にあるだけで、県外の大学に進学しているが、卒業しても柏崎に戻りたいとはあまり思っていない。柏崎はもっと子育てしやすい街づくりに力を入れるべきだと思う。そうでなければ帰りたいとは思わない。
 - ・子育て支援のサポートを手厚くする（←少子化対策）
 - ・今後、安心して柏崎で子供を育てたいけるよう、支援（経済や物資など）サポートを充実させてほしい。産みたい・育てたいとなっても育てていける環境がまだうすく感じる。その点を踏まえて子供をきちんと育てていけるのか不安。
 - ・子育てするのにお金が足りなすぎる。もっと給付金を増やしてほしい。
 - ・保育所（未満児）の受け入れ拡大。
 - ・子どもを産む人が増えるように、出産できる病院が増えたらいいなと思います。
 - ・病児保育は、親が仕事の時しか預けられない。子供が体調不良を起こすと、基本的に親にも感染するため、仕事じゃなくても病児保育で預かってもらい、親も少し安静に療養したい。
 - ・他県からの移住者ですが、柏崎市は子育て支援に力を入れていて素晴らしいと思います。
 - ・出産をするためには、長岡まで計画入院などをしなければならないと、先輩から聞いた。子供がほしいと思っても、出産できる環境ではないかと思う。そもそも夫婦ともに両親が他県で、保育園に入園できるか。
 - ・産科が少ない。不妊治療がしづらい。
 - ・子育て支援を充実させてほしいと考えています。
 - ・妊娠(不妊治療)・出産・子育て支援を充実させてほしい。
 - ・柏崎市で結婚し、子どもを産み育てたいと思えるような施策を展開してほしい。
 - ・若い方たちが、「柏崎にすみたい」と思ってもらえる地域作りをよろしくお願いします。子育て世代の大変さをもっと理解して頂きたいです。
- (※再掲)・若年層が柏崎市で生活することを選択したくなるような学習、子育て支援、就業サポート（職場待遇改善）が必要だと感じます。

「仕事/就労」に関する記載

- ・人手不足の状況に対して正社員の求人が少ないと感じます。人が市外へ流出することを防ぐためにも雇用の場を増やしてもらいたいです。
- ・この度は若者をターゲットにしたアンケートありがとうございます。期待することですが、若者の就職・転職のきっかけとなる手厚いサポートを期待したいです。柏崎市の企業さんと連携をした企業説明会などを期待したいです。
- ・若者が働きやすい職場が増えることを期待しています。
- ・高校で、柏崎にある就職先の紹介や職業体験の機会（またはチラシなどでの周知）がもう少し欲しいと感じた。学生時代は地域のことで目がいかなかったのが最初から柏崎には就職先がないと諦めている友人が多く、高校の友人はほとんどが進学先の新潟市や関東でそのまま就職している。進学後にまた柏崎に戻ってきたいと思ってもらうためには就職や子育てなど若者に対する支援が充実していることを特に学生に広めてほしいと個人的には感じている。
- ・雇用の場を創出するために、シャッター街といった空き店舗や空き家を利用し、県外企業を誘致するなど、柏崎に住む魅力をより増やすことが大切だと思います。
- ・女性が、子どもがいることを理由に企業から採用してもらえず、仕事につけない実態について、検討願いたい。
- ・企業、就労先の選択が沢山あることが重要。
- ・休日が充分にとれない以上、家庭はもてません。市がどうにかできることではないと思いますが…。
- ・自分は大学を卒業して柏崎に帰ってきましたが、高校卒業を機に柏崎から離れる人も多く、大学卒業後に戻る

人が僅かなことは、少し悲しい。言うことは簡単ですが、大卒や若い人材を惹きつける IT 等の企業の誘致、地域の企業の給料等待遇の改善を通して U・I ターンの促進を目指すべきかと思います。それが結果的に若者人口の維持だけでなく、市の持続的な発展につながり、より過ごしやすい柏崎になると思います。

- ・現代は、少子高齢化に進展しているので、高校を卒業する若者達が柏崎市で就職できるよう就職先が充実すると良いと思います。
 - ・誰もが安心して働けるようにしてほしい。
 - ・行政は、子ども・若者が安心して育ち、過ごせる柏崎市にしたいという事の基本的な事を全く認識していないというも強く思っている。なぜ子どもが柏崎を出ていくのか、なぜ子供を産みたくないのか、こんな事がどうして分からないのか。どんなに良い子に育っても、どんなに子育てが充実していても、柏崎にしようと思わない。答えは簡単だ！！勤めようとする会社がない、大企業と言われる企業が全て撤退。この事の要因を考えないでこんなアンケートを行っても無意味！！勤めたいと思う企業、遊びたい場所、好きな買い物ができる。この充実こそが柏崎に求める全てと言っても過言ではない。なぜ大企業（魅力ある企業）が撤退したのか、もう一度皆で考えてほしい。
 - ・もっと柏崎市に若者が残るように、大学卒業後に戻ってきてもらえるように、工場などだけではなく若者にも人気のありそうな会社も作ってほしい。色々なお仕事があることをもっと SNS などを使ってアピールしてほしい。
 - ・柏崎独自の企業説明会をするなど、もっと柏崎にいる若者が、転職などで就職できる企業などを知れる機会が欲しい。大々的に広告を行ってもらわないと分からない。
 - ・就職先を充実させて欲しい。
 - ・柏崎に若者を増やしたいなら仕事を探しやすくすることです。私自身地元は神奈川で I ターン就職です。妻の実家が柏崎なので柏崎に住んでいます。その際に仕事探しにとっても苦労しました。そして柏崎では条件のいい就職先は見つからず長岡まで働きにでております。
 - ・柏崎は給料が安い。やりがいがない。頑張ってもお金が安いならモチベーションも上がらない。
 - ・働く場所が少なく、給与も少ないため、柏崎から出て行ってしまう人が多いので、働く場所が増えてほしい。
 - ・子どもに関わる職員の人員増及び賃金増。
- (※再掲) ・子育てしながら働きやすい環境などにもっと目を向けてほしいです。
- (※再掲) ・関東圏と同様の利便性（交通、遊び場、就職先の充実など）がほしいです。
- (※再掲) ・若年層が柏崎市で生活することを選択したくなるような学習、子育て支援、就業サポート（職場待遇改善）が必要だと感じます。

「商業施設/娯楽施設（若者の遊び）」に関する記載

- ・若い世代や子育て世帯が休日に出かける場所が限られているので、シネコンやショッピングモールなどを誘致していただけたら嬉しいです。
- ・大型の商業施設を増やしてほしい。
- ・日帰り温泉施設がほしい。
- ・老若男女問わずに楽しめる映画館付きのショッピングモールがほしい。
- ・アウトドア系ショップがあるとよい。
- ・お店やサロンの割引、クーポンを増やして欲しい。
- ・リバーサイド千秋やイオンモールのような複合施設、温泉施設などあれば年齢問わず人が寄り、すごしやすい。楽しめる場が増えると思います
- ・キッズマジックを新しくしたので、大勢の家族が集まるフォンジェ、その周辺をもっと有効活用して家族連れ（特に 1~3 歳の子供がいる）が遊んだり食べたりできるといいです。市外、県外から柏崎に遊びにきてくれた時、私たちはどこを案内したらいいかわかりません。今は友達を呼びたいとは思えません。
- ・柏崎から転居した友人（長岡在住）が、「キッズマジックに行っても他に行くところがないから行けない」と言っていました。
- ・店（飲食、遊ぶところ、買い物など）を増やしてほしい。
- ・映画観や美術館が欲しいです。

- ・学生が遊べるようなショッピングモールが欲しい。
- ・学生が遊べる場所を提供してほしい。
- ・休みの日に遊びに行くお店がなく、結局長岡や新潟まで行くことになっている(衣食住の服すらともに買う場所がない)。
- ・娯楽施設が少なすぎると思います。周りの友人達も口を揃えて言っていますし、それが原因で離れていった友人も多いです。普通に暮らす分には不便なことはありませんが、やはり娯楽施設は増やしてほしいと思います。
- ・公園は充実しているが、それ以外の商業施設などが少ないと感じる。若者がもっと柏崎で楽しめる場所があるとほかの市町村まで行かなくてもいいのと思う。
- ・今後の柏崎市には、人口流失や過疎化を防ぐために政策を講じる必要があると思います。コストコや IKEA など大型ショッピングモールを誘致し、市内だけでなく市外からも買い物客を呼び寄せる・柏崎に訪れる魅力を作る必要がある。
- ・若者の遊び場の整備をお願いします。
- ・子どもも大人もの遊べる大型商業施設を増やして欲しいです。柏崎にはあまりないので市外(長岡、上越、新潟)に出向いているのが現状です。
- ・大きいショッピングモールと海の近くに遊べる場所があるとよい。
- ・本町あたりにスーパーを作って欲しいです。
- ・若者が遊べるような施設を作って欲しいです。
- ・便利なショッピングモール、ジャスコみたいな所が欲しい。
- ・子ども・若者に限らず、多くの人が遊べる場所(テーマパーク等)を作ってほしいです。
- ・特筆すべきものが無いし、遊べる場所が少ないように感じます。若者の流失が激しいように感じるので対策すべきだと思います。
- ・野外で遊べる場所、大型のショッピングモール、複合型施設の誘致が必要。
- ・店が少ない。潰れていくだけで、長岡市との差が広がっている。買い物する場所も少ないし、8号沿いしか店がない。
- ・買い物をする時、市外へ行く人が多く、柏崎市でお金を使う人が減っている。ショッピングエリア内の店舗の充実と柏崎市にどのようなお店があったら良いのか市民の声を聞いて、他の市からも訪れて貰える町づくりが必要。
- ・商業施設や娯楽の充実。
- ・映画館、ショッピングモールを作って欲しい。
- ・欲しい物(文具)を購入するために市内のお店を3件まわったが、結局なくてネットで買うことになりました。ささいなことですが、そういった事があると柏崎では用が足せなくて、最初から長岡や新潟へ行ってしまい悪循環だと思ってしまいます。
- ・ショッピング等、楽しめる店、商業施設が少ないため、長岡市、新潟市に外出することが多い。柏崎市にも同様の施設が欲しい。
- ・柏崎市は他の市に比べ娯楽施設が少なく、駅の近くがあまり賑やかではありません。土地などの問題もありますが映画館や大型スーパー、マンションなどが今の柏崎市には必要だと感じました。
- ・柏崎市街地に、とは言わないが長岡市に行くよりも近い距離にある程度のものが揃っているショッピングモールがあると生活がかなり充実すると思う。子連れでの買い物で複数のお店に行く場合チャイルドシートへの乗せ降ろし→抱っこ紐着脱(orベビーカー乗せ降ろし)の繰り返しで苦労しています。そのため、一日に複数の用事を済ますことができない日も多く1箇所に100均や薬局、スーパー、ファミレス、衣料品などが揃えられる場所があるといいなと常日頃思っています。
- ・柏崎市内で、若者が集う場所(遊び場)ってあるのでしょうか…？
- ・子ども、若者が遊べる施設が少なすぎる。キッズマジックを拡大したことは良いと思うが、フォンジェ内の施設が何もない為、とてもつまらない。フードコートやアカチャンホンポ、ゲームセンター等を入れると良いと思う。学校が密接している地区なのに、フォンジェ内にお年寄りがたむろして、朝イチで野菜を売っている状況を変えて欲しい。若者と子供の区域にして欲しい。駅前の廃れた商店街を全て変えて、柏崎を活気のある街にしてほしい。(全て屋台飲み屋にするとか…。)このつまらない柏崎を変えないと未来はないと思う。あり

えないくらいの改革を絶対してください！！

- ・長岡はリバーサイド千秋、上越はイオンモール、間の柏崎には何も無くデカイショッピングモールが存在しないから、買い物は隣市まで車で行くので柏崎にも欲しい！
 - ・フォンジェの周辺にあった、マクドナルドや中にあった書店とかスーパーを復活させてほしい。
 - ・大型の商業施設がほしい、上京しても帰ってきたくるような町づくりをしてほしい。
 - ・商業施設の充実、やる気のあるお店への支援(やる気のない既存商店街は淘汰されて当然と考える)。
 - ・商業施設を誘致し、若者が集まりやすい街になってほしい。
 - ・若者、特に大学生が大学以外に気軽に行けるような場所が少なく、柏崎市以外のところへ行ってしまうている。
 - ・若者にとっては遊び場が少ないのでラウンドワンやショッピングモールなど柏崎にできれば嬉しいと思います。
 - ・道の駅建設の実現。
 - ・市内に友達とあそべる場所が少ない。
 - ・子供向けには、キッズマジックや元気館など、楽しく過ごせる場所がありますが、若者（高校～20代）には遊ぶ場所がない（少ない）。
 - ・飲食店を増やしてほしいです。
 - ・家族や友人が柏崎に遊びに来たいと言ってくれているのに、行く場所がありません。関東圏と同様の利便性（交通、遊び場、就職先の充実など）がほしいです。せめて長岡や上越と同じくらい街にぎわってほしいなと切に願います。
 - ・薬局が多いのでイオンや映画館、リバセンのような店がほしい。
 - ・コメダ珈琲、マツモトキヨシもあった方が良くと思う。
 - ・ショッピングモールを作って、若者を含め多くの人がショッピングを楽しめる場所を作って欲しい。
 - ・柏崎の自然を生かした遊歩道など景観を楽しめる場所がもっとあると嬉しい。
 - ・若者が安心して集まれる場所（ショッピングモールや飲食店）がほしい。現在遊びや買い物の際にはほとんど出かけているので大変。Iターン移住者にとって利用しやすい施設を期待している。
 - ・駅前を中心に市街地がさびれている。企業誘致などを積極的に行い、一生住める街作りをしてほしい。
 - ・ショッピングを楽しめない。服屋さんが全くなくて、結局、市外に行くことが多い。
 - ・活気がある街になってほしい。柏崎から引っ越す若者が多いため、都会に出た後も戻りたくなるようになってほしい。観光地、ショッピングセンター等作ると魅力的になると思う。
 - ・昔に比べ若者が遊びに行くような施設が減っていて柏崎の施設で遊ぶ若者が少なくなった様な気がします。
 - ・もっと観光スポットや若者が遊べる場所を増やしてほしい。柏崎で遊べる場所やショッピングできるところを増やしてほしい。駅前のシャッター街を活性化させてほしい。
 - ・柏崎市にイオンなどの誰もが通えるショッピングモールを作ってほしい。
 - ・隣接する市町村に比べ、柏崎市は若者の遊ぶ場所とショッピングセンターが少ないと感じます。
 - ・若者が過ごしやすい環境や様々な人が楽しめる大型商業施設作りなどをしてほしいです。
 - ・若者が集まれる場所が少ないと思うので遊び場や飲食店を増やして欲しいです。
 - ・若者が遊べる場所をもっと増やして欲しい。その為、若者が柏崎市を離れる要因の1つだと思う。
 - ・カフェや映画館など、交流やリフレッシュの場を増やすことで、若者の暮らしに活気を与えられると思う。
 - ・道の駅の件は非常に残念でした。フィッシャーズが閉まっているのも残念です。
 - ・道の駅や商業施設の充実。
 - ・何よりも柏崎の周りの市(長岡市をはじめとして上越市も十日町市も小千谷市も南魚沼市も)には全てイオンがあるのに柏崎にはないことが納得いかないです。ブルボンに関しても駅前に社屋があるわけなのでカフェが駅などにあるならば知名度も上がるし盛り上がりそうだと思います。この通り是非よろしくお願いします。
- (※再掲)・勤めたいと思う企業、遊びたい場所、好きな買い物ができる。この充実こそが柏崎に求める全てと言っても過言ではない。

観光/イベント

- ・ 柏崎市は海の街なのでもっと、イベントや観光に力を入れて、お金を動かして街を活性化させてほしいです。
- ・ 海のまちなので海をもっと活用して（イベント施設を使ってあつまれる場所にしてほしい。
- ・ たる仁和賀をもっと盛り上げてほしい。
- ・ イベントを増やしてほしい。
- ・ 若者や子供が楽しめるような施設やイベントをたくさん作って欲しいです！
- ・ 人が少ないので町おこしのようなことをして経済を回してほしい。例えば、南魚沼のまじ井みたいなのを柏崎でもしたらいいと思う。

「お金/経済的支援」に関する記載

- ・ アパートの家賃補助
- ・ 給与の手取りが少なくほとんど貯金できない(ローンを組んでも返済できない)為、車や家を買う余裕が無いので経済的な支援を検討して欲しいです。
- ・ 減税
- ・ 何かを充実させるというよりも、ここに住んでいたらお金がかからないよね、と思いたい。「税金少なくて助かるよね」「子供産んでもお金使わないね」「無料でこんなことしてくれるんだね」と思える事をしてほしい。何かを与えるために税金を使わないで、市民の手元のお金が減らないようにして、人生の安心感を得るために税金を使ってほしい。
- ・ 若者への経済的支援を期待する。
- ・ 経済面でとても助けられています(助成金等)。他市から来ましたが、来てよかったと思います。いつもありがとうございます。
- ・ 原発やブルボンなど大手の会社があり、税収がうるおっているにもかかわらず、市民に還元されておらず、住民税や電気代、水道代、ガス代などが高すぎる。給料は安いまま上がらない。
- ・ 若者は物価高や給与が安い事もあり、子どもを授かって、今の状況では育てられないと思う。地域商品券とかあれば、少しは生活が楽になると思う。

住宅関係

- ・ 安価で質の高い住宅の整備が重要である。
- ・ 支払い易い家賃の住宅を増やして欲しい。
- ・ 柏崎は一人暮らしをするには家賃の相場が高く単身用のアパートが少ないため、そのうち一人暮らしするとしたら柏崎からは出ていくと思います。妙に安い怪しいアパートを選べば住めるとは思いますが、女の一人暮らしでは危険すぎるため現実的では無いです。単身者用のアパートがもう少し増えたらいいのと考えています。

「情報発信」に関する記載

- ・ おすすめのレストランやサロン、新しいお店などを SNS やホームページで発信して欲しい。
- ・ 観光地のアピールが必要。
- ・ SNS で話題になるような観光スポットなどを発信する。
- ・ 高齢者や、小さい子供への支援は様々あると思うが、20代くらいへの支援が少ないと感じる。奨学金の支援もやっているが、やっているという情報が出回っていないように感じる。こういう支援をやっていますということを分かりやすく伝えるべきだと思う。
- ・ 若い世代が自分で調べ、他の自治体と比較できるよう、わかりやすい情報発信をしてほしい。
(※再掲) ・ 子育て支援が充実しているのであれば、そのことを高校生、大学生などの学生にも広めてほしい。
(※再掲) ・ 柏崎市で子育てがしたいと思えるような子育て制度とその周知が必要。

「交通インフラ」に関する記載

- ・公共交通機関の充実。
 - ・休日にバスが1本もないのでどこにも行けません。
 - ・見通しの良い道路を作って欲しい。夜間の運転のしやすさを充実して欲しい。
 - ・市街地の郊外に住んでいる子どもが移動手段で非常に不便しています。財政的に厳しいかと思いますが、電車やバスの本数を増やしてほしいです。
 - ・新規にお店（給料の少ない）を建設するのは、現実的ではないので、若い人が出掛けやすいような、交通機関の補助などがあるとありがたい。
 - ・通勤に使っていたバスがなくなった為、歩きか自転車で通わなければならない。あいくるさえ使えない。
 - ・夜のタクシーを増やしてほしい。
 - ・新幹線の最寄りが長岡・上越妙高と少し遠いので、1本で東京へ行けるようにしてほしい。
 - ・交通機関も充実しておらず、車がないと何もできないという現状がある。
 - ・交通の利便性やWi-Fi環境など、移動や仕事をしやすいインフラの整備も重要視すべきである。
 - ・公共交通機関を充実させて欲しい。
 - ・バス・電車の時間を増やして欲しい
- （※再掲）・柏崎で交流を深める目的でも、公共交通機関を盛んに整備し、柏崎市内で運動などを通じて交流の場を作るべき。
- （※再掲）・関東圏と同様の利便性（交通、遊び場、就職先の充実など）がほしいです。

「障がい支援等」に関する記載

- ・（母親から）重度身体障害者（車いす生活の人対象）の入所施設を柏崎市として新しく1つ、近い将来作ってもらえたら本当にありがたい。1人1人の障害や特性は異なりますが、現在の新潟病院・長岡療育園が我が子の場合には選択肢なのですが、現時点では、満床、足りない、待ちの状態だと思います。できれば柏崎に入所させたい。
- ・障がい者の働く場所（会社）を多くしてもらいたい。
- ・障がい者雇用の充実化。
- ・障害者雇用をもっと推進して欲しい。ハローワークのインターネットサービスにて障害者雇用枠で検索するとたった数件しか出て来ない。通勤しての就職が人によっては不可能なのでそのあたりをどうか改善して欲しい。
- ・小中学校で、発達支援教室に通っていました。学校での授業のサポートはありましたが、医療機関との連携がなく残念でした。
- ・私は障がい者なのですが、人と関わる点で困って生きづらくなってしまうことがあるので、困っている人同士が集まれるコミュニティをもうけてほしいです。
- ・身体的、精神的に支援が必要な方たちに向けての市民のみなさまの視線や対応等、良くない目を向けてくるとも見受けられます。環境が良くなっても市民全体、ひとりひとりが受け入れ方を改善していかないと何も変わらないと思っています。

「原子力発電」に関する記載

- ・ 原発に頼らずとも持続的な収入源があるといい。
- ・ 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働。
- ・ 原発稼働に関する決定に、市民の意見をもっと取り入れてほしい。
- ・ 原発に関しては、柏崎市に限らず日本全体で管理・運用ができる資質はないと思うので廃止の方向へ進んでほしい。
- ・ 刈羽原発の永久停止、有事の際の被害が想定される範囲内住居者への手当等。
- ・ 就職とともに新潟県へ移住し結婚しました。まず思うところは、原子力発電所の安全性についてです。再稼働したとして、事故が起きたときに守ってもらえるのでしょうか。また事故が起きないようなチェック体制が整っているのでしょうか。正直、私は原発が再稼働したら県外へ移住しようと考えています。本当に安全が確保されるのか、有事の際の対策は万全か今一度検討していただきたいです。

「治安/犯罪/道徳」に関する記載

- ・ 柏崎市に住んで1か月しかたっていないのであまり求めることなどは思い浮かばないが交通安全のため、みまわりをなるべくしてほしいです。
- ・ 柏崎市では、特殊詐欺被害が多発している為各家庭が騙されない様に意識を高めて欲しい。子ども・若者が誰にでも親切に出来る関係を作って欲しい。
- ・ 道路にゴミが落ちていない、みなが交通ルールを守る、地域活動を企画して住民のつながりをつくる、空き家をなくす、街灯を増やす。
- ・ 通報しやすい環境を整えてほしい。総合体育館の利用料金を支払う際、身分証明書等で、高校生か、中学生かをわかるように提示してほしい。公共の場で人の嫌味を言うと、周囲にいる人が不愉快であるなど、道徳をしっかりしてほしい。柏崎市民に対してだけでも人間不信、恐怖心をなくしたい。私が住む家に対して嫌がらせをしないでほしい。
- ・ 年々、整備された公園が増え小さな子ども達が遊びやすい環境が構築されていると感じます。ありがとうございます。ですが、明るい街灯が少なく、暗くなってくると危ないなと思う場面もあります。一気に増やすことは出来ないと思いますので、通学路など子どもの通行が多い箇所を中心に改善していくのはどうでしょうか？
- ・ ポイ捨てゴミ・タバコがある、誰かが嫌がる行為が形を変えて状態化するのをみて、安心して暮らせると思うだろうか。柏崎市で生まれ育ったなら、学校に通っていた頃には厳しく指導されていたと思うが、大人になって日本全国的な報道ニュースでも流れそうな真似をしているのだろうか。夜、うるさいバイクは走っているし。（※再掲）・見守り体制などが充実することを願っています。

「その他：感想/要望」記載

- ・とにかく男尊女卑な体制があればしっかり改善して欲しい。しかし子育て世帯ばかりを甘やかせばいいわけではなく、女性が単身でも安心して暮らせる社会を目指して欲しい。
- ・金銭的支援は感じていますが環境が悪いから離れる人が多い。若者が生きやすい環境を作って欲しい。
- ・虫が出てくるので虫が嫌がる対策をして欲しい。森林伐採や壁の作成など。
- ・かしわざきの食育5箇条の歌が早口で子どもに伝わらないと思うので、改善してほしい。
- ・除雪をしっかりとやってもらいたい。
- ・新発田市がももクロを招致したように、人を呼び込み、地域でお金を使ってもらえるような取組があると、若者が地元のよさを再確認する機会になるのではないかな。
- ・行政のみならず民間の力を借りて、幅広い視点で施策立案、実行して欲しい。
- ・考える事、思う事は、正直誰でも出来る事だと思う。市の代表として市民に選ばれた方々には、行動で示してもらいたい。正直国も同様に当選するまでは、綺麗事を並べ当選してからは、税金が…など言い訳が多い。そんな事は当選前の下準備時点でいくらでも考えられた事。昔の日本は、税率が少ないのに普通に国民は、生活できた。税率が8.10%と上がっているこの時代で何故少子高齢化、物価の高騰、ガソリンの補助の値下げ等が起きるのがよく分からない。そんな国自体に不安を抱えているのは、自分だけではないと思います。それを踏まえて、柏崎市ではこれを行っています！と自信を持って言える行動・施策を頑張ってもらいたい。市に人が増えれば必然的に経済も良い方へ進んで行きます。それに伴うリスクもあると思いますが、リスクを恐れずに強気の姿勢で何事も取り組んでももらいたいと期待しています。よろしくお願いします！
- ・老人ばかり増えていき、このままではまずいと危機感を感じています。柏崎が好きなのに、このままでは結婚して子供ができた時には柏崎では不安で他の市に行きそうです。若者に優しい街づくりを期待しています。
- ・イベントの開催→県外からの集客、商業施設の有地→空地・空きテナントの増加、商店街の活性化→シャッター街増加、空き家問題→景観の改善、高齢者のためのスーパー（薬局以外）
- ・柏崎市に住みたいと思えるような柏崎ならではの魅力がほしい。
- ・安心して長く住んでいたいと思える町づくり。
- ・「子ども、若者が安心して育ち過ごす」という事は、その親を支えるための仕事を市がしてほしい。高齢者も、若者も、は無理だと分かった方がいい。正直、高齢者にはもう少しガマンして頂く必要がある。これからの世代に重点を置くべきだと思う。
- ・病院への支援だけでなく、医師への支援・看護師など医療専門職への支援を拡充してほしい
- ・柏崎市に住む一人一人を大事にしてほしい。
- ・柏崎市が教育面でも経済面でもさらに発展することを期待します。施設を改善し、地域社会が社会でより活発になるように組織化します。
- ・町内の海岸掃除などボランティアでやっている所を市が進んでやってほしい
- ・私は幼い頃から家族とうまくいかず、学校でも上手く居場所を作れませんでした。その中でも、ある方からカウンセリングをしてもらったり、居場所として学びの場に参加することで、自分に自信を持ち、自分を少し好きになることができました。家庭に、学校に居場所がない、自分なんて…と思っている人はたくさんいると思います。そんな子たちにぜひ、自分を少しでも好きになって欲しいと思います。今も相談することが多く、日々学び続けています。もし可能であれば、その方の力を使いながら、子どもたちに明るい未来があるということ伝えてほしいなと思います。
- ・子どもがいる家庭ばかりの支援ではなく、若者への支援も増やしてほしい。
- ・老若男女過ごしやすい環境を整えてほしいと思います。インフラやレジャー施設、見守り体制などが充実することを願っています。
- ・フォンジェ内のコツコツ貯金体操はさっさと別の場所にすべき。
- ・西山に子どもが勉強できるスペースや塾を作してほしい。
- ・私は保育の仕事をしていますが、柏崎、のんびりと子供と歩ける場所が少ないと思います。昔は交通公園、野外ステージが有ったと聞いています。今は柏崎全体がなにか動きがバラバラという感じ。スジを通した柏崎がほしいです。皆で楽しめる、これぞ柏崎！！という場所（旧市役所のアト地）を。
- ・友人は揃って県外の大学に進学し、その後ほとんどの人が関東で就職し柏崎に帰ってくる見込みがありません。

冬は風が強く、雪も降るこの街は、関東と比べると住みやすさという面では劣ってしまうのは仕方ないと思いますが、お店ができては閉店し、外国人はその店舗を廃品回収の拠点にしてしまうような街は若者が住みたいと思える街では無く、離れてしまうのも納得がいきます。若者が戻ってきたくなくなるような、居場所を提供してほしいです。これからの企業の誘致に期待します。

- ・市自体が最新の技術に対して他県の水準よりも先進的な知見を持ち、今後の動きや発展にも活かせるようになってほしい。
- ・私は県外や市外で生活をしていた時期もありましたが、柏崎へ帰ってきました。仲間内で今現在柏崎にいるのは片手で数えるくらいしかいません。もっと柏崎へ帰ってきたいと思える街になったらいいと期待しています。
- ・次回以降、二次元バーコードの背景色を白にしてください。黒っぽい色だと端末やアプリの種類によっては読み取りにくく、簡単に読み取れない事で回答率が下がると思われます。
- ・若い世代が暮らしやすい環境。同級生とかは半数くらいが進学を機に県外に行ったままなので若い世代がまた戻ってきたいと思うような支援があって欲しい。
- ・若者としては自分達への支援もそうですが、将来の自分達が支援を受けられるかも見ています。目先にとらわれて高齢者支援をおざなりにすることの無いようにお願いいたします。
- ・地域にある小中高大が、連携したこども支援の体制作り。
- ・地方都市のモデルケース
- ・小さな子でも一人でいける場所に安全な学習場所が必要。万が一の避難所にもなるような。
- ・いつも市民の暮らしを支えてくださり、ありがとうございます。子育て支援や公共施設の整備など、日々の生活の中で市の取り組みを実感する場面が多く、安心して暮らせる環境に感謝しています。特にこれからの地域を担う若い世代や子どもたちへの支援について、今後さらに力を入れていただけたら嬉しいです。教育、仕事、子育てなど、将来に希望が持てるような取り組みが広がっていくことを期待しています。限られた体制のなかでのご対応、本当にお疲れさまです。今後も市民と一緒に、よりよいまちづくりを進めていただければと思います。
- ・まず、そういった子供や若者に対する考えを持ち、こういったアンケートを実際実施している点は大きな一歩であり、素晴らしい取り組みかと思います。
- ・そもそも若者が少ない。進学等で出て行ったきり帰ってこない。生活する分には不自由はないし、住み良い環境だと思うが、魅力がないから出て行ってしまふのだと思う。今の中学生、高校生からも、将来柏崎に住みたいと思わないという声がよく聞く。子どもが安心して育つ環境が作れても、子どもや若者がいなくては意味ないのでは？と思ってしまいます。日本全体の少子化が進んでいるので、どこの自治体も同じかもしれませんが。
- ・柏崎市に住みたいと思わせる魅力を作ること・住むメリットを作ること・それを発信することが今、必要だと思います。
- ・こどもの時代館跡地らへんに太陽光を敷設するべく調査に入るらしい。1年数カ月前の再整備計画では「遊びと学び、楽しみを創出するエリア」とか謳っていたと思うのだけど。いろいろ頓挫しているのもわかるけど、結論それ？電源立地地域で補助金もらえるから、それを活用すべくコンサルが絵を描き、太陽光敷設してってあまりにも市民にとってプラスのない流れ。売電して、利益はまちづくりにという話はいつ実行されるのかな？そんなに電源立地の補助金をまた使って（多分）、太陽光発電設備を作るべく調査をしなきゃいけないのか、意味不明なのだけど…コンサル以外誰が得するの？で、1年ちょい前の道の駅「風の丘米山」再整備基本設計中間報告とはなんだったの？誰か責任取らないのかな？夢がないシムシティだったらつまらんまちだよ。
- ・Kashiwazaki is the best place
- ・高校入試の倍率も定員割れが多くなっており競争心が育たず、大学進学や就職してから周りとの差に苦しむ人が増えるのではないかな。このような暮らしにくさから若者の人口流出が進んでいくと思う。私は就職で市外から来た人間だが、ずっと柏崎にいる人は時間感覚がのんびりしているように感じている。
- ・結婚を機に柏崎市に来て楽しく過ごしているが、将来出産、育児を考えると不便さを感じてしまう。普段の買い物をはじめ、子どもの進学先や交通の便など、選択肢の多い場所への移住を考えている。
- ・行政に期待することはない。期待できるほどの成果があれば生活はもっと豊かだと思う。
- ・子どもに関する支援は本当に充実していると思います。公的施設も綺麗で充実しており、市役所の職員も柔軟に対応してくださるので、住みやすいです。この部分は今の状態を維持してくださると嬉しいです。

- ・市外や、県外へ流れる若者に休暇の帰省などのタイミングで「ここでも良いかな」という安心感を与えることができる場所になれば、若者は帰ってくるのではないかと思います。
- ・柏崎の消防職員が全国的に給与がたかいのはなぜ？
- ・若者が県外などに進学・就職をする選択もあると思います。柏崎市がもっと魅力的な町になって、残りたいと思えるようになると良いです。
- ・結婚を機に県外から移住してきた者です。移住者支援が都内在住や勤務者に限られていて残念でした。
- ・柏崎市は自然が多く魅力的な市だと思います。ただ、若年層が柏崎市にとどまらない、移住が少なくどこも働き手がない印象を受けます。そのため、商業施設の運営が難しく、また従業員 1 人あたりの業務量が増えるといった状況があると思います。若年層が柏崎市で生活することを選択したくなるような学習、子育て支援、就業サポート（職場待遇改善）が必要だと感じます。
- ・大好きなこの町をそのままに。
- ・駅を降りて隣接するところに葬式をするところを置くのは観光に来た人からしてどう感じるだろう。
- ・卓上でしか考えることが出来ないのなら今のままでいいと思います。無駄金だけ使わんようにお願いします。
- ・柏崎の LINE で公園の遊具損傷を通報しました。直していただきありがとうございました。子供も安全に遊んでいます。と担当した人に伝えて欲しいです。